

臺灣總督府

中央研究所林業部報告

第二十號

規那造林ニ關スル研究 第一回報告

Report No. 20

On the Cinchona Tree Planting 1.

臺灣總督府中央研究所

昭和十二年三月

Department of Forestry

Government Research Institute

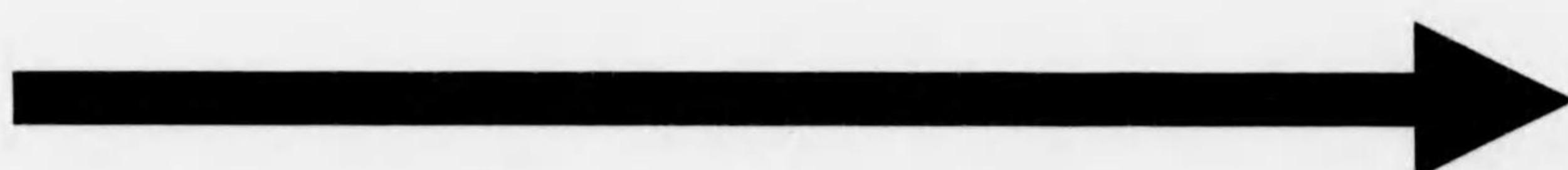
Taihoku Nippon (Japan)

March 1937.



857

始



臺灣總督府

中央研究所林業部報告

第二十號

規那造林ニ關スル研究 第一回報告

Report No. 20

On the Cinchona Tree Planting 1.

臺灣總督府中央研究所

昭和十二年三月

Department of Forestry  
Government Research Institute  
Taihoku Nippon (Japan)

March 1937.

本報告ハ規那造林ニ關スル研究成績ニシテ當事  
者ヲ益スルコト大ナルヲ認メ之レヲ印刷ニ附ス

昭和十二年三月

臺灣總督府中央研究所林業部長

農學博士 關文彥

## 總 目 錄

- 第一 規那挿木試驗 技 手 飯 塚 肇  
第二 規那種子ノ形質ガ其ノ發芽苗木及ビ成木ニ及ボス影響  
ニ關スル研究 第一報 技 手 飯 塚 肇  
第三 規那播種床比較試驗 技 手 飯 塚 肇

第一 規那挿木試驗

## 目 次

	頁
緒 言.....	1
一 試 驗 地 .....	1
二 試 驗 材 料 及 ピ 試 驗 方 法 .....	1
(一) 挿 穗 の 調 製 .....	1
イ 母 樹 及 揿 穗 材 料 採 集 時 期 .....	1
ロ 揿 穗 材 料 採 集 站 及 運 搬 .....	1
ハ 揿 穗 の 種 類 本 數 及 調 製 方 法 .....	2
(二) 挿 付 .....	2
イ 挿 付 床 の 準 備 .....	2
ロ 挿 付 方 法 及 挿 付 時 期 .....	2
ハ 挿 付 後 の 處 置 .....	2
三 試 驗 成 績 .....	3
(一) 活 着 .....	3
(二) 生 長 量 .....	10
(三) 皮 目 ニ 於 ケ ル 水 分 養 分 の 吸 収 及 發 根 .....	12
(四) 挿 木 苗 及 實 生 苗 の 根 系 の 比 較 .....	12
(五) 病 害 .....	13
(六) 氣 象 觀 測 成 績 .....	13
イ 觀 測 所 の 位 置 .....	13
ロ 測 器 の 地 上 高 .....	13
ハ 觀 測 時 .....	14
ニ 觀 測 事 項 及 觀 測 器 .....	14
四 結 論 .....	26
摘 要 .....	26
文 献 .....	27
圖 版	

# 第一 規那挿木試験<sup>(1)</sup>

拔 手 飯 塚 肇

## 緒 言

母樹ニ等シキ形質ヲ持続スル爲メ規那樹殊ニ Cinchona Ledgeriana Moens ノ造林ニ於テハ挿木造林ノ必要ヲ認メラルモノナルモ、從來本種ノ母樹ヨリスル挿木苗養成ハ活着少ク頗ル困難トセラル處ニシテ之ガ方法試験ノ如キ林業試驗場報告第七號所載ノモノヲ除キテハ未ダ報告セラレタルモノナシ、依ツテ先づ挿穗ノ種類ニ依ル活着及ビ生長ニ關スル試験ヲナシタレバ、之ガ成績ヲ報告セントス。

本題目ヲ指示サレ且指導及ビ助力ヲ與ヘラレタル林業部勤務技師松浦作治郎氏、挿穗採取ニ當リ助力ヲ與ヘラレタル知本臺灣星製藥株式會社規那造林所員各位、挿穗採取挿穗ノ處理及ビ苗圃管理ヲセラレタル元當試験地勤務助手吉良九州男氏ニ對シ爰に深甚ナル謝意ヲ表ス。

## 一 試 験 地

挿穗ノ採集地ハ臺東廳臺東支廳知本臺灣星製藥株式會社規那造林所ニシテ、海拔高439mノ所ナリ。而テ之レヲ挿付セシ所ハ臺東廳大武支廳蕃地[マリブル]社臺灣總督府中央研究所藥用植物試驗地ニシテ海拔高1,076mノ所ナリ。

## 二 試 験 材 料 及 試 験 方 法

### (一) 挿穗ノ調製

#### イ 母樹及挿穗材料採集時期

挿穗材料採集母樹ハ臺東廳知本臺灣星製藥株式會社規那造林地植栽ノレドゲリアーナ種ナリ、母樹ハ大正十五年六月植栽セルモノニシテ樹高4.3~6.6m、胸高直徑5.3~9.4cmナリ。

昭和十年五月四日及ビ五日ノ兩日ニ瓦リ挿穗材料ヲ採集セリ。

#### ロ 挿穗材料採集竝ニ運搬

挿穗ヲ調製スペキ材料ハ二種ニシテ一ハ側枝、一ハ樹幹ヨリ萌出セル新枝條

(1) 臺灣總督府中央研究所林業部第一殖育試驗室業績 第五

トス。

採集地ニ於テハ挿穂材料ヲ温潤ナル砂中ニ埋藏セリ。運搬ニ當リテハ切口ヲ水苔ニテ包ミ麻袋ニ入レ、周囲ニハ雜草(おほえだうちちみざさ及ビサさきび)ヲ充分ニ水ニ漬シテ填充セリ。然ル後採集地知本間約一里ヲ擔送、知本太麻里間三里餘ヲ自動車、太麻里試験地間五里ヲ擔送ニヨリ運搬シ、昭和十年五月六日即チ材料採集後一二日ニテ到着セリ。晴天高溫ナリシ爲メ到着セシ時ハ幾分酸酵ノ傾向アリタリ。到着後直チニ麻袋ヨリ取出シ室内ニ列ベテ灌水セリ。

#### ハ 挿穂ノ種類本數及調製方法

挿穂ハ側枝ノ中間部ヲ用ヒタルモノ、側枝ノ先端部ヲ用ヒタルモノ及ビ樹幹ヨリ發生セル萌芽ニ類別シ、側枝ノ先端部ヲ用ヒタルモノハ更ニ着葉、半切葉、切葉ニ區別セリ。着葉トハ頂端葉2~4枚ヲ残シ、半切葉トハ之ヲ半截シ、切葉トハ全葉ヲ摘除セリ。從ツテ側枝ノ先端部及ビ樹幹ヨリノ萌芽ニヨル挿穂ハ一年生ニシテ、側枝ノ中間部ヲ用ヒタルモノハ一年生若シクハ二年生以上ナリ。

供試本數ハ各別400本トシ、尙別ニ各々40本宛ヲ挿付後適時掘取調査ニ供センガ爲挿付ケタリ。

斯クシテ穂ノ長サハ12cm、挿穂ノ中央直徑ハ側枝先端穂ハ0.25~0.70cm、側枝中間穂ハ0.60~1.40cm、萌芽穂ハ0.25~0.70cmナリ。

穂挿ヲ了シタルモノハ挿付スル迄順次水中ニ貯藏セリ。

#### (二) 挿付

##### イ 挿付床ノ準備

挿付床地土壤ハ粘質壤土ヲ篩別シ礫及ビ夾雜物ヲ除ケリ。板野氏携帶酸度盤ニ依ル測定酸度(pH)6ナリ。床ノ高サハ16cmトシ、充分ニ叩キ固メタリ。

##### ロ 挿付方法及挿付時期

挿付方法ハ挿付距離15cm×15cmニシテ、長サ7cmヲ埋込メリ、挿付ハ之ヲ昭和十年五月六日行ヘリ。

##### ハ 挿付後ノ處置

挿付後ハ日覆トシテ蓋簾ヲ用ヒタリ。日覆ノ幅ハ4尺、高サハ前面3尺、後面2.5尺トセリ。床ハ南面トス。

灌水ハ朝夕ノ二回トシテ疊天ノ際ハ朝一回、雨天ノ際ハ灌水セズ。

#### 三 試験成績

##### (一) 活着

イ 昭和十年六月二十三日(挿付後47日目)調査

數字ハ中央直徑ヲ示ス、以下同ジ。

供試 苗號	側枝 中間 穗	側枝 先端 穗 (着葉)	側枝 先端 穗 (半切葉)	側枝 先端 穗 (切葉)	萌芽 穂
1	1.20cm 切口周圍ニ瘡傷組織ヲ形成ス。皮目ハ膨張セリ。	0.51cm 瘡傷組織ハ切口周圍及ビ中央部ニ生ズ。皮目ハ若干膨張セリ。地上部ヨリ新芽發生ス。	0.42cm 瘡傷組織ハ切口周圍及ビ中央ニ點々ト生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。	0.56cm 枯死。	0.44cm 切口全面ニ厚キ瘡傷組織ヲ生ズ。皮目ハ切口上部ニ於テ若干膨張セリ。地上部ヨリ新芽發生ス。
2	1.33cm 枯死。	0.41cm 切口全面ニ瘡傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。地上部ニ於テハ既ニ新芽ヲ出セリ。	0.46cm 枯死。但地上部ニ於テハ既ニ新芽ヲ出セリ。	0.58cm 枯死。	0.39cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部ニ於テハ新芽ヲ發生セリ。
3	1.11cm 枯死。	0.49cm 枯死。	0.30cm 枯死。	0.50cm 枯死。	0.38cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。
4	0.84cm 枯死。	0.37cm 枯死。	0.27cm 枯死。	0.45cm 枯死。	0.40cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。
5	0.79cm 枯死。	0.36cm 枯死。	0.28cm 枯死。	0.44cm 枯死。	0.36cm 瘡傷組織ハ切口ノ一部ニ生ジ、膨張セル皮目ヲ認メズ。地上部新芽發生。
6	1.18cm 僅ニ瘡傷組織ヲ生ズ。膨張セル皮目ヲ認メズ。	0.33cm 切口周圍及ビ中央部ニ瘡傷組織ヲ生ズ。地上部新芽發生。	0.42cm 切口全面ニ瘡傷組織ヲ生ズ。地上部新芽發生。	0.58cm 枯死。	0.34cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ頗ル多シ。地上部頂端枯損。
7	1.36cm 瘡傷組織ハ切口周圍ニ點々ト生ズ。	0.39cm 枯死。	0.41cm 切口半面ニ瘡傷組織ヲ生ズ。地上部新芽發生。	0.44cm 枯死。	0.48cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部頂端枯損。
8	0.89cm 枯死。	0.42cm 枯死。	0.47cm 枯死。	0.37cm 枯死。	0.45cm 瘡傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽ナシ。

## 三 試 験 成 績

9	0.68cm 枯死。	0.39cm 枯死。	0.44cm 枯死。	0.37cm 枯死。	0.35cm 瘻傷組織ハ切口全面ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部頂端萎凋セリ。
10	0.61cm 枯死。	0.42cm 枯死。	0.38cm 枯死。	0.35cm 枯死。	0.39cm 瘻傷組織ハ切口周圍ノ一部ニ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。

□ 昭和十年七月二十三日(挿付後77日目調)

供番 試 苗號	枝條中間穗	枝條先端穗 (青葉)	枝條先端穗 (半切葉)	枝條先端穗 (切葉)	萌芽穗
1	1.12cm 枯死。切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ發生セシヲ認ム。	0.44cm 切口附近枯朽。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽ナシ。	0.56cm 切口枯朽。瘻傷組織ノ生ゼズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.48cm 枯死。但シ切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ發生セシヲ認ム。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.60cm 切口周圍ニ僅小ノ瘻傷組織ノ生ズ。
2	0.66cm 枯死。	0.44cm 切口上部ニ一部瘻傷組織ノ生ズ。其他ハ枯朽。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽ナシ。	0.40cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。膨張セル皮目ナシ。地上部新芽發生。	0.42cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.45cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。膨張セル皮目ナシ。地上部新芽發生。
3	1.38cm 枯死。	0.50cm 枯死。	0.41cm 枯死。	0.34cm 枯死。	0.44cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。
4	1.22cm 枯死。	0.48cm 切口下半枯朽。切口上半部ニ瘻傷組織ノ生ズ。荷挿付部ニ裂傷アリ、瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.42cm 切口周圍ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.37cm 枯死。	0.52cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。此部ヨリノ發根2本、長サ3mm。皮目ノ膨張セルモノ多シ。地上部新芽發生。
5	1.07cm 枯死。	0.40cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。	0.37cm 枯死。	0.34cm 枯死。	0.50cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。此部ヨリノ發根1本、長サ5mm。切口上部皮目ヨリノ發根4本、長サ1.3~1.0~0.6~0.3cm。地上部新芽發生。
6	1.20cm 切口周圍殊ニ下背部ニ多クノ瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.43cm 切口一部ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.46cm 切口下半ハ枯朽。切口上半部ニ瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.46cm 枯死。切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ生ゼズ。此部ヨリ發根1本。皮目ノ膨張セルモノ多シ。	0.53cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。此部ヨリ發根セシヲ認ム。皮目ノ膨張セルモノ多シ。地上部新芽發生。

## 三 試 験 成 績

7	1.21cm 枯死。切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ生ゼシヲ認ム。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.48cm 切口附近枯朽。皮目ノ剥離ニヨリ切口及ビ其上部ハ枯朽シ、健全部位ニ沿ヒ瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。樹皮粗ナリ。	0.51cm 挿付時ニ於ル切口皮ノ剥離ニヨリ切口及ビ其上部ハ枯朽シ、健全部位ニ沿ヒ瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。地上部新芽發生。	0.47cm 枯死。	0.50cm 切口周圍ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。
8	1.00cm 枯死。	0.40cm 挿穗下半枯朽。地上部新芽發生。	0.46cm 枯死。	0.32cm 枯死。	0.40cm 挿穗下半枯朽。皮目ノ膨張セルモノ多シ。地上部新芽發生。
9	1.16cm 枯死。	0.38cm 切口周圍ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。	0.41cm 枯死。	0.34cm 枯死。	0.39cm 切口枯朽。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。
10	1.11cm 枯死。	0.35cm 枯死。	0.44cm 切口下半ハ枯朽。上半部ニ極メテ僅カノ瘻傷組織ノ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.42cm 枯死。	0.38cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。地上部新芽發生。

八 昭和十年八月二十三日(挿付後108日目)

供番 試 苗號	枝條中間穗	枝條先端穗 (青葉)	枝條先端穗 (半切葉)	枝條先端穗 (切葉)	萌芽穗
1	1.34cm 切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.37cm 切口下半枯朽。上半部ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ如ク、瘻傷組織ハ切口上半部全面ニ生ズ。瘻傷組織ニ接スル部分ヨリ發根2本、長サ3.5cm。皮目ノ膨張セルモノ下部ニ若干。成葉3、新芽2。	0.38cm 挿付時切口先端部皮剝離セルモノノ如ク、瘻傷組織面及ビ皮目ヨリノ發根28本、長サ約12.5cm、埋込部下半皮目ノ膨張セルモノ多シ。成葉2、新芽2。	0.45cm 枯死。	0.49cm 切口木質部ハ腐朽シ、皮部ニ瘻傷組織ノ生ゼリ。瘻傷組織面及ビ皮目ヨリノ發根2本、長サ約12.5cm、埋込部下半皮目ノ膨張セルモノ多シ。成葉3、新芽2。
2	1.18cm 切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。地上部新芽發生。	0.34cm 瘻傷組織ニ接スル皮目及ビ切口裏面皮目ヨリノ發根5本、長サ約9cm、第二次、第三次ノ分岐根頗ル多シ。成葉2、新芽2。	0.41cm 切口及ビ挿穗下部腐朽。皮目ヨリノ發根3本、皮目ノ膨張セルモノ若干。成葉2、新芽2。	0.52cm 枯死。	0.46cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。瘻傷組織面及ビ之ニ接スル部分ヨリノ發根51本、長サ約18cm、拂子状ニ發根セリ。成葉4、新芽2。
3	0.92cm 枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ノ生ゼシヲ認ム。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.40cm 瘻傷組織ハ切口右上方ニ一部生ジ、之ニ接スル部分ヨリ發根セリ。切口他部ハ枯朽。成葉1、新芽2。	0.49cm 瘻傷組織ハ切口右上方ニ一部生ジ、之ニ接スル部分ヨリ發根セリ。切口他部ハ枯朽。成葉3、新芽1。	0.46cm 枯死。	0.32cm 切口全面ニ瘻傷組織ノ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。下部皮目ヨリノ發根21本、長サ約12cm、瘻傷組織面ヨリノ發根ナシ。成葉2、新芽2。

## 三 試 験 成 績

4	1.27cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ多シ。	0.45cm 挿付時ニ於ル切口皮ノ剥離ニヨリ此部僅ニ腐朽シ、之ニ沿ヒ環状ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ少シ。成葉3、新芽1。	0.43cm 瘻傷組織ハ略々全面ニ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ少シ。成葉3、新芽1。	0.40cm 枯死。	0.44cm 瘻傷組織面及ビ之ニ近キ皮目ヨリ發根53本、長サ約13cm、拂子狀ニ發根セリ。成葉4、新芽2。
5	1.01cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.30cm 瘻傷組織ヲ生ゼズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。切口附近枯朽。新芽2。	0.40cm 瘻傷組織ハ切口周圍ニ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノナシ。切口育面皮目ヨリノ發根4本、長サ約10cm。成葉3、新芽1。	0.39cm 枯死。	0.45cm 切口上半部瘻傷組織ニ接スル部ヨリノ發根14本、長サ約10cm。成葉3、新芽1。
6	1.08cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ少シ。切口周圍ニ僅ニ瘻傷組織ノ生ゼシヲ認ム。	0.42cm 切口全面ニ瘻傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ若干。新芽2。	0.36cm 瘻傷組織ハ切口全面ニ除キテ瘻傷組織ハ略々全面ニ生ズ。此部ヨリノ發根19本、皮目ヨリノ發根3本、皮目ヨリノ發根39本長サ約12cm、皮目ノ膨張セルモノ多シ。成葉2、新芽2。	0.37cm 枯死。	0.33cm 切口下端僅ニ腐朽セリ。之ヲ除キテ瘻傷組織ハ略々全面ニ生ズ。此部ヨリノ發根3本、皮目ヨリノ發根39本長サ約12cm、皮目ノ膨張セルモノ多シ。成葉2、新芽2。
7	1.01cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ若干。	0.42cm 瘻傷組織ヲ生ゼズ。下半部枯朽。皮目ノ膨張セルモノ若干。成葉1、新芽1。	0.52cm 瘻傷組織ハ略々全面ニ生ゼリ瘻傷組織ニ接スル部ヨリノ發根7本、長サ約9.5cm、上部皮目ヨリノ發根3本、長サ約3.0cm、皮目ノ膨張セルモノ若干、成葉2、新芽2。	0.42cm 枯死。	0.69cm 皮目ノ膨張セルモノナシ。
8	1.07cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ少シ。	0.54cm 切口一部ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。成葉1、新芽1。	0.41cm 切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。下部ニ皮目ノ膨張セルモノ若干。成葉1、新芽3。	0.30cm 枯死。	0.40cm 瘻傷組織ハ全面ニ發達セリ。瘻傷組織ニ接スル部分ヨリノ發根12本、長サ約9cm、拂子狀ヲナセリ。成葉2、新芽2。
9	0.96cm 枯死。皮目ノ膨張セルモノ少シ。	0.39cm 切口全面ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。瘻傷組織ニ接スル部分ヨリノ發根2本、新芽3。	0.47cm 切口腐朽。切口背面ノ樹皮裂開部ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ若干。新芽2。	0.39cm 枯死。	0.56cm 皮目ノ膨張セルモノナシ。瘻傷組織ハ切口全面ニ發達シ、之ニ接スル部分ヨリノ發根12本長サ約9cm、拂子狀ヲナセリ。
10	1.03cm 枯死。	0.54cm 挿付時ニ於ル切口皮剥離ニヨリ瘻傷組織ハ健全部ニ點々ト生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。成葉2、新芽6。	0.34cm 切口及ビ其上部枯朽。上部皮目ヨリノ發根4本、挿付部下半皮目多シ。成葉2、新芽1。	0.38cm	0.45cm 瘻傷組織ニ接スル部分ヨリノ發根28本、長サ約8cm、拂子狀ヲナセリ。成葉2、新芽3。

## 三 試 験 成 績

= 昭和十一年一月二十三日(挿付後261日)調査

供番試苗號	枝條中間穗	枝條先端穗(着葉)	枝條先端穗(半切葉)	枝條先端穗(切葉)	萌芽穗
1	切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。新芽2。	發根ハ瘻傷組織ニ接スル部分ヨリセリ。第一期根多ク、新生根ハ少シ。	瘻傷組織面ヨリ發根ナシ。切口脊面皮目ヨリ發根1本、更ニ之ヨリ多數ノ新生根ヲ岐出セリ。	瘻傷組織ニ接スル部分ヨリ發根セリ。	主トシテ瘻傷組織面及ビ之ニ接スル部ヨリ發根シ上部皮目ヨリハ僅ニ2本ヲ出セルノミ。
2	切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。新芽2。	發根ハ瘻傷組織ニ接スル部分ヨリセリ。第一期根多ク新生根ハ少シ。	發根ハ瘻傷組織ニ接スル部ヨリシ、之ヨリ新生根ヲ岐出セリ。	瘻傷組織ニ接スル部分ヨリ發根セリ。	瘻傷組織面及ビ之ニ接スル部ヨリ發根根シ、支根ノ長キモハ33cmニ達ス。
3	切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。新芽2。	發根ハ瘻傷組織ニ接スル部分ヨリセリ。第一期根多ク新生根ハ少シ。	瘻傷組織ニ接スル部ヨリ發根セリ。	切口脊面皮目ヨリ發根セリ。	發根部位ハ上記二者ニ同ジ。第一次根ハ既ニ堅密、直徑モヤ、大トナリ長ク延伸セリ。第二次根ハ細小軟弱ニシテ數多ク拂子状ヲナセリ。
4	切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼリ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。新芽2。	瘻傷組織ニ接スル部ヨリ發根セリ。殆ド新生根ノミナリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織ニ接スル内部及ビ插穗下部皮目ヨリ發根セリ。	瘻傷組織面及ビ之ニ接スル皮部、上部皮目ヨリ發根セリ。
5	枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヲ認ム。	瘻傷組織面及ビ之ニ接スル部ヨリ發根セリ。殆ド新生根ノミナリ。	切口脊面皮目ヨリ發根セリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織面及ビ之ニ接スル皮部、上部皮目ヨリ發根セリ。
6	枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヲ認ム。	瘻傷組織面及ビ之ニ接スル部ヨリ發根セリ。殆ド新生根ノミナリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織面ヨリ發根セリ。	插穗下部皮目ヨリノ發根多ク、瘻傷組織面ヨリハ細小ナル新生根若干ヲ出セルノミ。
7	枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヲ認ム。	切口ハ枯朽シ其上部ニ僅ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヨリ發根セリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織面ヨリ發根セリ。殆ド膨軟ナル新生根ノミナリ。
8	枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヲ認ム。	瘻傷組織面及ビ上部皮目ヨリ發根セリ。	切口脊面皮目ヨリ發根セリ。	瘻傷組織ハ切口全面ニ發達セリ。發根ナシ。	皮目ヨリノ發根1本。
9	枯死。切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ゼシヲ認ム。	主トシテ瘻傷組織面及ビ之ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部及ビ插穗下部皮部ヨリ發根セリ。第一次根ハ長大ナル發育ヲナセリ。新生根少シ。	瘻傷組織ヲ生ゼズ。皮目ノ膨張セルモノ多シ。	瘻傷組織面ヨリ發根セリ。
10	切口周圍ニ瘻傷組織ヲ生ジ、之ヨリ第一次根1本、之ヨリ第二次根2本ヲ出シ更ニ之ヨリ僅少ノ第二次根ヲ岐出セリ。	瘻傷組織面ヨリ第一次根1本、之ヨリ第二次根2本ヲ出セリ。	瘻傷組織ニ接スル皮部ヨリ發根セリ。新生根多シ。	僅ニ瘻傷組織ヲ生ズ。皮目ノ膨張セルモノナシ。	瘻傷組織面及ビ插穗下部皮目ヨリ發根セリ。

尚更ニ穗ノ種類別ニ記述スルコト次ノ如シ。

## (イ) 側枝中間穂

挿付後47日ニシテ枯死スルモノハ概ね枯死シ、生活力アルモノハ切口周囲又ハ一部ニ癒傷組織ヲ生ゼリ。然レドモ其後ハ生育ノ見ルベキモノナク其多クハ枯死シ、辛ジテ活着セルモノモ九箇月後ニ於テ尚發根セザルカ又ハ極メテ僅少ノ發根ヲナセルノミナリ。一般ニ切口中央即チ木質部上ニハ癒傷組織ヲ生ゼズ。

## (ロ) 側枝先端穂(着葉)

挿付後47日ニシテ枯死スルモノハ概ね枯死シ、生活力アルモノハ切口全面又ハ切口周囲及ビ中央部ニ癒傷組織ヲ生ジ、盡ク地上部ニ於テハ新芽ヲ出セリ。挿付後77日ヲ経過セルモノニ於テハ挿付時切口皮ノ剥離セルモノハ其部枯朽シ癒傷組織ノ形成遅レタリ。膨張セル皮目ノ認メラルモノハ癒傷組織ノ形成速カニシテ多ク、然ラザルモノハ癒傷組織ノ形成遅クシテ少シ。挿付後108日ニシテ尚時ニ枯死スペクシテ枯死セザルモノアリ。一般ニ此時期ニ於テハ地上部ニ成葉及新芽ヲ生ジ、癒傷組織ハ切口全面ニ發達シ、生育旺盛ナルモノニ在リテハ發根セリ。切口皮ノ剥離セルモノニ在リテハ癒傷組織ノ形成少ク生育緩漫ナリ。此時期以後ニ於テ漸次形成セラレタル拂子狀根ハ挿付後約九箇月ニシテ更ニ多クノ分岐新生根又ハ第一次新生根ヲ出セリ。尚挿付後九箇月ニシテ初メテ第一次根ヲ發生セルノミノモノアリ。

## (ハ) 側枝先端穂(半切葉)

挿付後47日ニシテ枯死スルモノハ概ね枯死シ、生活力アルモノハ切口全面又ハ一部ニ癒傷組織ヲ生ジ、地上部ニ新芽ヲ發生セリ。挿付後77日ニシテ尚發根スルモノナシ。膨張セル皮目ノ多キモノハ、切口皮剥離セルニ拘ラズ健全部ニ沿ヒ癒傷組織ヲ生ジ、地上部ニハ既ニ成葉ヲ生ジタリ。皮目ノ膨張多キモノハ樹皮粗面ナリ。挿付後108日ニシテ概ね幼根ヲ發生セルモノ、皮目ノ膨張少キモノニアリテハ發根セズ。地上部ニハ成葉ヲ生ジタリ。此時期ニ於テ形成セラレシ第一次根ハ其後長大ニ發育シ、之ヨリ更ニ多數ノ分岐根ヲ出セリ。尚挿付後約九箇月ニシテ初メテ發根セルモノアリ。發根ハ主トシテ癒傷組織ニ接スル皮部ヨリシ、癒傷組織面及ビ挿穗下部皮目ヨリモ發根セリ。此時期ニ到リテ地上部ノ長サハ稍々增加セリ。

## (二) 側枝先端穂(切葉)

挿付後77日ニシテ膨張セル皮目多キモノハ切口周囲ニ癒傷組織ヲ生ジタル

モ概ネ枯死セリ。膨張セル皮目多キモノハ直徑稍大ナル傾向アリ。活着セルモノハ挿付後約九箇月ニシテ初メテ發根セルモノノ如ク、此時期ニ於テ尚發根セザルモノアリ。發根ハ主トシテ癒傷組織ニ接スル皮部ヨリシ、挿穗下部皮目及ビ癒傷組織面ヨリモ發根セリ。發根セルモノハ稍々地上部長ヲ増加セリ。

## (ホ) 萌芽穂

挿付後47日ニシテ枯死スルモノハ概ね枯死シ、生活力アルモノハ、膨張セル皮目ノ認メラルモノニ在リテハ切口全面ニ厚キ癒傷組織ヲ生ジ、然ラザルモノニ在リテハ切口全面又ハ一部ニ癒傷組織ヲ生ゼリ。地上部ニ於テハ新芽ヲ發生スルカ或ハ發生セズ。挿付後77日ニシテ尚枯死スペクシテ枯死セザルモノアリ。一般ニ切口全面ニ癒傷組織ヲ生ジ、生育旺盛ナルモノハ既ニ發根セリ。直徑比較的大ナルモノハ生育旺盛ナリ。挿付後108日ニシテ一般ニ癒傷組織ニ接スル皮部又ハ挿穗下部皮目ヨリ拂子狀ニ發根セリ。膨張セル皮目多キモノハ發根多ク長大ナリ。膨張セル皮目ノ認メラレザルモノニアリテハ發根セズ。挿付後約九箇月ニシテ著シク地上部長ヲ増加シ、當初形成セラレタル拂子狀根ハ著シク長大トナリ更ニ多クノ新生根ヲ出セリ。發根ハ主トシテ癒傷組織ニ接スル皮部ヨリナシ、挿穗下部皮目及ビ癒傷組織面ヨリ發根セリ。

活着率次表ノ如シ。

挿 穗 別	挿付本數	10.10.12(挿付後158日目)		11.1.23(挿付後261日目)		得 苗 率
		活 著 數	活 著 率(%)	活 著 數	活 著 率(%)	
側 枝 中 間 穂	400	4	1.00	—	—	—
側 枝 先 端 穂 (着葉)	400	98	24.50	86	21.50	21.50
側 枝 先 端 穂 (半切葉)	400	72	18.00	10	2.50	2.50
側 枝 先 端 穂 (切葉)	400	7	1.75	7	1.75	1.75
萌 芽 穂	400	260	65.00	246	61.50	61.50

挿付後約五箇月目ニ於テハ尚活着ノ正確ナル表示フナスフ得ズ。此時期ニ於テ既ニ地上部ニ成葉及ビ新芽ヲ生ジ、活着セリト認メラルモノニシテ其後枯死スルモノアリ。

活着率ハ萌芽穂最モ大ニシテ61.50%ヲ示シ、枝條先端穂(着葉)之ニ次ギ21.50%ナリ。他ハ著シク不良ニシテ、殊ニ側枝中間穂ニ於テハ活着セルモノナシ。

以上ヲ考察スルニ癒傷組織ノ形成及ビ發根ハ、萌芽穂最モ速ニシテ、尚膨張セ

ル皮目ノ多ク認メラルムノハ然ラザルモノヨリ速カナリ。下端切口ニ於ル癒傷組織ノ形成極メテ僅カナルモノニアリテモ、地上部ニハ既ニ新芽ヲ生ゼリ。又全ク癒傷組織ヲ形成セズ挿付後77日ヲ経過シテ尙地上部ニ成葉ヲ生ズルモノアリ。發根ニ關シテハ膨張セル皮目ノ多キモノハ發根多ク且長大ナリ。之等ノ事實ヨリスレバ、皮目ハ癒傷組織ノ形成以前又ハ以後ニ於テ土壤中ノ水分、養分ノ吸收ヲナシ生育ニ資スルモノ少ナカラザルヲ推察シ得ベシ。

側枝中間穂ハ挿付後一般ニ切口周圍ニ癒傷組織ヲ生ズレド、全面ニ生ズルモノナク多クハ枯死セリ。即チ新生枝ニ非レバ癒傷組織ノ形成ハ困難ナリ。

挿付後108日ヲ経過セル時期ニ於テハ萌芽穂ハ概ね拂子狀發根ヲナシ、枝條先端穂ノ内ノ着葉及ビ半切葉ハ一部僅少ノ發根ヲナセリ。

側枝先端穂及ビ萌芽穂ニ於テハ直徑小ナルモノハ比較的皮目ノ膨張少ク、直徑大ナルモノハ比較的皮目ノ膨張セルモノ多シ。又皮面粗ナルモノハ皮目ノ膨張多シ。

萌芽穂ニアリテハ挿穂下部皮目ヨリノ發根ヲナスモノハ直徑小ニシテ淡綠褐色ヲ呈シ堅硬ナリ。反之主トシテ癒傷組織ニ接スル皮部及ビ近接皮目ヨリ拂子狀發根ヲナスモノハ直徑大ニシテ淡綠色ヲ呈シ膨軟ナリ。即チ後者ハ癒傷組織ハ比較的ヨク發達シ、且切口附近ニ於テ膨張セル皮目ノ多ク存スルニヨルモノナリ。

## (二) 生長量

昭和十一年一月二十三日(挿付後261日目)ニ於ケル生長量次表ノ如シ。

區 別		中 央 直 徑	地 上 部 長	根 長	根 部 重 量
側 枝	1	cm 1.36			
	2	1.47			
	3	0.85	枯		
中 間	4	1.32			
	5	0.89			
穂	6	1.27			
	7	1.24			
	8	1.32			
穂	9	1.09			
	10	0.95	死		
平 均		1.18			

側 枝 先 端 穂 (着 葉)	1	0.45	24.7	17.0	4.0
	2	0.43	23.0	16.5	3.1
	3	0.43	22.8	7.0	2.1
	4	0.50	25.8	14.0	2.5
	5	0.32	14.4	8.0	1.0
	6	0.44	21.8	11.0	3.3
	7	0.38	12.5	4.0	1.1
	8	0.34	15.0	11.0	1.1
	9	0.40	13.4	9.5	0.4
	10	0.39	11.7	9.0	0.5
平 均		0.42	18.5	10.7	1.9
側 枝 先 端 穂 (半 切 葉)	1	0.48	15.7	16.0	3.0
	2	0.37	9.5	8.5	1.1
	3	0.41	12.0	7.0	1.0
	4	0.41	14.5	19.5	1.3
	5	0.32	11.6	9.5	1.7
	6	0.40	8.2	4.0	0.2
	7	0.39	10.3	8.0	1.2
	8	0.46	9.0	12.0	1.3
	9	0.43	13.0	13.5	0.7
	10	0.42	10.5	11.5	1.0
平 均		0.41	11.4	11.0	1.3
側 枝 先 端 穂 (切 葉)	1	0.48	15.7	16.0	1.1
	2	0.39	10.3	10.5	1.0
	3	0.46	9.0	8.0	1.0
	4	0.43	13.0	13.5	1.0
	5	0.42	10.5	11.0	0.6
	6	0.42	10.0	12.5	1.1
	7	0.38	10.4	8.5	0.5
	8	0.42	7.3	—	—
	9	0.39	7.0	—	—
	10	0.37	7.5	—	—
平 均		0.42	10.1	8.0	0.6
崩 芽 穂	1	0.68	37.8	21.0	4.7
	2	0.55	18.3	24.0	12.1
	3	0.50	26.9	20.0	9.2
	4	0.45	15.6	19.0	4.2
	5	0.52	15.0	23.0	4.2
	6	0.60	18.4	20.0	8.1
	7	0.44	33.0	21.0	5.3
	8	0.53	21.2	18.0	5.9
	9	0.47	22.5	18.0	7.6
	10	0.51	20.5	18.0	6.0
平 均		0.53	22.9	20.2	6.7

地上部長ハ發根ニヨリ急激ニ増加シ,挿付後約九箇月目ニ於テハ萌芽穗ハ地上部,根系共ニヨク發達シ,側枝先端穗(着葉)之ニ次ギ側枝先端穗(半切葉)ハ稍々劣レリ。側枝先端穗(切葉)ハ此時期ニ於テ尙發根セザルモノアリ,發根セルモノモ半切葉ニ劣レリ。側枝中間穗ハ殆ド枯死シ活着セルモノモ發根極メテ少シ。

### (三) 皮目ニ於ケル水分,養分ノ吸收ト發根

挿穗ガ挿付後發根スル迄其生育ヲ維持シ新芽新葉ヲ發生セシ得ルハ主トシテ貯藏養分ノ消費ニヨルモノナレドモ,其他ニ切口ヨリノ水分ノ吸收樹皮ニ於ル皮目ヨリノ水分,養分ノ吸收ニ俟ツモノ多シ。從ツテ皮目ノ膨張多キモノハ然ラザルモノヨリ一般ニ癒傷組織ノ形成速カニシテ發根早シ。挿穗直徑比較的大ナルモノハ小ナルモノヨリ皮面粗ナルモノハ然ラザルモノヨリ皮目ノ膨張スルモノ多シ。但シ挿穗ノ年齢ニハ關セザルモノノ如シ。

挿付後主トシテ埋込部ニ於テ樹皮ニ小突起ヲ生ジ中央裂開セル状ヲナセリ(第二圖版1)。更ニ之ヲ檢鏡セバ,該突起ハ表面ハ被膜ナクヤ、膨大セル海綿狀木栓細胞層堆積シ,其内方ニ偏平ナル皮目形成層並列シ,表面中央ハ陥没セリ(第一圖版)。即チ皮目ハ海綿狀木栓細胞層ノ發達ト共ニ滲透ニヨリ水分養分ノ吸收ヲ行フ。

「レドゲリアーナ」ニ於テハ一般ニ癒傷組織面ヨリハ發根セズ,主トシテ之ニ接スル皮部,切口脊面皮目及ビ挿穗下部皮面ヨリ發根ス(第二圖版2)。之ヲ檢鏡スレバ,根ハ發達セル皮目所在部ノ分裂組織ニヨリ形成セラレ,後皮目ヲ通ジ外部ニ發生ス(第二圖版3)。

皮目ニ於ル水分,養分ノ吸收及ビ發根ノ著シキ例ヲ示セバ,昭和十一年三月下旬レドゲリアーナ挿穗ヲ園子挿トナシ挿付ケタルモノヲ,約三箇月後ニ掘取り觀察セシニ(第四圖版)本挿穗ハ切口枯死シ癒傷組織ヲ生ゼズ,埋込部ノ園子狀粘土ニ密着セル部分ニ於テ著シク多數ノ皮目ノ膨張ヲ生ジ,下端皮目ヨリハ既ニ發根シ地上部ニハ既ニ二枚ノ新葉ヲ生ジタリ。此如キモノハ後年,根株腐朽ノ因ヲナスモノナルベシト雖モ以テ皮目ガ水分,養分ノ吸收ヲナシ,生育ニ與リテ力アルモノ少ナカラザルヲ認メ得ベシ。

### (四) 挿木苗ト實生苗トノ根系ノ比較

地上部ニ於テ略々同様ナル生長ヲナセル挿木苗(昭和十年五月挿付)ト實生苗(昭和九年八月播種)ヲ比較スルニ次表ノ如ク,前者ノ根系ハ水平ノ擴張著シク,垂

直ノ伸長少シ。即チ比較的長大ナル第一次支根ヲ多數發生シ多クハ水平ノ擴張ヲナセリ。第二次以上ノ支根ハ比較的少シ。後者ハ第一次支根ハ2本ノミニシテ垂直ニ延伸シ,水平ノ擴張少シ。第二次以下ノ支根數ハ頗ル多ク,第二次支根ハ30本第三次以下ノ支根亦頗ル多シ。第二次支根モ概ネ垂直ノ伸長ヲナセリ(第四圖版)。

區 別	調査時ノ 年 齡	地上部長	根元直徑	主 ナル 第一 次 支 根			第 二 以 下 支 根 數	支 根 ノ 量 計		
				番 號	長 サ	根元直徑				
挿 木	二 年	37.8	0.86	1	26.0	0.33	少	6.4		
				2	24.0	0.52				
				3	11.0	0.20				
				4	9.0	0.15				
				5	27.0	0.39				
	未 滿			6	23.0	0.39	シ	5.9		
				7	21.0	0.13				
				8	22.0	0.43				
				9	12.5	0.62				
				10	12.0	0.18				
實 生 苗	一 八 箇 年 月	33.6	0.71	11	10.0	0.15	多 シ	5.9		
				12	7.7	0.15				
				13	8.5	0.14				
				14	6.0	0.14				
				15	6.0	0.12				

### (五) 病 害

六月以降十月ニ至ル間ニ於テ規那臺灣疫病ノ發生多ク,實生苗ハ甚大ナル被害ヲ蒙レルニ拘ラズ。挿木苗ハ殆ド本病ニ侵サルモノナカリキ。本現象ニ就テハ諸種ノ推論ヲ與ヘ得ベシト雖モ之ガ研究ハ今後ノ機會ニ俟ツコトセリ。

### (六) 氣象觀測成績

#### イ 觀測所ノ位置

觀測所ハ臺東藥用植物試驗地苗圃接續地ニシテ海拔1,076mノ所ナリ。但シ自記溫度計ハ小屋掛床中ニ置ケリ。

#### ロ 測器ノ地上高

最高最低寒暖計,乾濕計ハ夫々當所松浦技師設計ノ局所氣象觀測用携帶

百葉箱ニ入レ、前者ノ測器ノ地上高1.5m、後者モ亦同ジク1.5mトナセリ。

蒸發計ノ底部ハ地上0.15mトナセリ。

日照計ノ地上高ヲ1.8mトナセリ。

自記溫度計ハ地上0.88mトス。

#### ハ 觀 濟 時

毎日午前十時一回トス。

#### ニ 觀 濟 事 項 及 觀 濟 器

最高、最低氣溫ヲ最高最低寒暖計ニ依リ、平均氣溫ヲ自記溫度計ニ依リ、溫度ヲ乾濕計ニ依リ、蒸發ヲ蒸發計ニ依リ、日照時數率ハ可照時數ニ對スル日照時數ノ百分率ヲ以テ、日照時數ハ日照計ニ依リ、雨量ハ雨量計ニ依リ夫々觀測セリ。

#### 昭和十年五月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	19.2	14.0	15.8	93.00	0.2	—	3.2
2	18.5	14.0	15.3	89.00	2.6	—	—
3	17.0	14.0	15.3	100.00	1.9	—	0.8
4	20.8	14.5	17.0	71.00	2.2	—	1.9
5	23.6	15.0	17.6	72.00	2.4	1.8	1.4
6	22.0	16.0	18.3	74.00	2.3	3.0	2.3
7	20.8	16.0	18.0	89.00	2.0	—	0.3
8	22.4	15.5	18.0	85.00	0.2	1.4	21.6
9	22.4	16.5	18.9	81.00	2.0	2.5	—
10	24.5	17.0	18.9	85.00	2.3	1.0	—
11	25.6	16.5	22.4	90.00	1.8	—	9.8
12	25.0	17.5	23.0	73.00	2.8	—	2.9
13	24.4	17.0	19.6	95.00	2.0	3.5	26.1
14	25.0	18.0	19.6	95.00	2.4	—	5.9
15	23.4	17.0	18.7	80.00	2.0	—	4.4
16	20.8	15.5	17.7	89.00	1.3	—	2.9
17	23.4	16.0	19.5	85.00	1.2	2.5	1.7
18	27.1	17.0	21.8	89.00	1.1	4.9	2.6
19	22.4	18.0	19.8	85.00	2.0	—	0.5
20	24.5	17.5	20.1	86.00	0.8	—	11.0
21	25.0	18.5	20.0	95.00	3.5	—	7.5
22	21.4	18.6	19.4	95.00	1.4	—	34.9
23	20.0	16.0	19.0	100.00	1.0	—	39.9
24	20.0	15.4	17.0	84.00	0.3	—	6.1
25	20.0	14.2	16.8	89.00	0.8	—	33.3
26	19.0	15.8	17.6	89.00	2.7	—	12.8
27	20.0	14.8	17.5	89.00	0.4	3.5	2.4
28	23.2	15.4	18.1	89.00	1.5	2.5	—
29	— <sup>(1)</sup>	—	—	81.00	3.1	5.0	2.2
30	—	—	—	73.00	3.9	—	—
31	—	—	—	66.00	—	—	—
合 計	—	—	—	—	54.1	1.0	—
平 均	27.1	14.0	20.4	85.70	1.9	(9.10) <sup>(2)</sup>	238.4

(1) 缺測以下同ジ。 (2) 日照時數率以下同ジ

#### 昭和十年六月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	29.0	20.0	24.5	63.00	5.9	0.5	—
2	28.6	19.5	22.0	59.00	5.1	0.5	—
3	24.2	19.0	20.6	67.00	6.8	—	0.9
4	23.0	18.5	20.4	80.00	1.0	—	38.0
5	26.0	18.5	20.5	85.00	0.1	—	95.0
6	29.0	18.0	21.9	82.00	5.1	3.2	1.9
7	24.5	19.0	20.6	85.00	3.1	—	—
8	28.0	18.0	23.0	68.00	1.1	—	3.6
9	25.0	18.5	21.7	77.00	1.0	—	5.0
10	28.0	17.0	22.5	69.00	3.5	—	6.8
11	28.5	20.0	24.2	95.00	4.3	—	2.0
12	27.0	21.0	24.0	69.00	2.1	—	7.0
13	25.0	18.5	21.7	81.00	1.8	—	1.5
14	24.0	17.5	20.7	90.00	1.2	—	1.2
15	24.0	18.0	21.0	81.00	0.9	—	20.2
16	26.0	18.3	22.0	97.00	—	—	71.0
17	20.5	19.0	19.5	98.00	—	—	55.4
18	24.0	18.0	21.0	90.00	0.8	—	2.1
19	26.0	18.0	21.3	69.00	1.0	—	6.5
20	29.0	19.0	22.0	59.00	4.4	4.0	—
21	28.0	18.0	20.1	60.00	6.6	5.5	—
22	27.6	19.0	21.9	81.00	5.8	4.3	—
23	27.6	18.0	22.2	70.00	5.9	—	9.5
24	28.6	18.0	22.0	82.00	6.3	6.0	—
25	27.0	19.0	22.1	70.00	5.9	8.5	—
26	27.0	18.5	21.7	77.00	4.1	6.0	—
27	27.0	18.0	21.3	82.00	4.6	7.3	—
28	25.8	18.0	20.6	70.00	4.6	—	—
29	27.0	18.0	22.1	73.00	4.5	2.0	—
30	27.0	18.5	21.8	73.00	4.2	3.2	—
合 計	—	—	—	—	101.7	60.5	—
平 均	29.0	17.0	21.7	76.70	3.6	(12.40)	318.1

#### 昭和十年七月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	27.0	19.0	23.3	77.00	4.1	6.6	—
2	24.4	17.5	20.0	86.00	5.0	—	—
3	21.5	17.0	19.0	86.00	4.2	—	—
4	23.2	17.0	19.9	85.00	—	—	56.4
5	24.5	18.0	21.3	81.00	2.5	—	19.9
6	25.5	19.0	22.3	81.00	1.5	—	35.3
7	20.5	18.0	19.0	89.00	3.9	—	48.3
8	27.0	18.5	21.8	74.00	1.4	—	25.7
9	27.0	18.5	22.1	70.00	5.8	9.5	—
10	26.0	19.5	21.8	81.00	5.0	8.0	—
11	26.0	19.0	21.6	73.00	5.3	3.3	—
12	24.3	19.0	20.8	85.00	4.0	—	—

## 三 試 驗 成 績

16	26.0	18.0	21.1	77.00	2.3	7.5	0.9
17	27.0	18.0	21.1	70.00	4.4	8.0	—
18	27.5	18.0	21.8	60.00	5.2	5.5	—
19	29.0	19.0	24.0	78.00	4.7	—	—
20	28.5	19.0	22.6	74.00	4.9	8.2	—
21	29.0	20.0	22.8	74.00	5.2	—	—
22	24.3	20.0	21.8	—	6.5	—	—
23	20.0	18.5	19.1	100.00	—	—	146.0
24	23.2	19.0	20.3	100.00	—	—	224.7
25	25.8	18.0	20.7	90.00	—	—	95.7
26	25.0	18.0	21.5	86.00	1.9	—	1.9
27	27.0	18.0	21.2	85.00	2.4	—	2.6
28	28.0	19.5	22.0	81.00	3.2	4.5	—
29	28.0	19.5	22.0	68.00	3.7	—	—
30	21.0	18.5	19.6	100.00	—	—	131.2
31	23.8	18.0	19.1	100.00	0.8	—	56.0
合計	—	—	—	—	93.0	63.8	—
平均	29.0	17.0	21.2	82.1	3.6	(19.0)	880.6

昭和十年八月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	23.8	18.0	19.1	100.00	0.3	—	63.2
2	24.4	18.0	20.0	90.00	0.7	—	1.4
3	26.0	18.0	20.8	74.00	0.2	—	—
4	25.6	18.0	20.6	100.00	0.3	—	29.0
5	23.7	18.5	20.6	100.00	0.2	—	48.5
6	23.0	19.2	20.6	100.00	—	—	245.0
7	20.8	19.2	19.8	100.00	—	—	69.0
8	21.3	19.7	20.3	100.00	—	—	45.3
9	27.2	19.7	22.8	85.00	0.5	5.6	35.0
10	30.0	20.3	23.5	66.00	4.3	7.0	—
11	30.2	20.3	23.5	66.00	6.1	8.5	—
12	30.2	19.7	23.8	56.00	6.4	10.0	—
13	32.6	20.8	24.8	60.00	7.3	10.3	—
14	32.6	20.3	24.3	59.00	7.5	8.0	—
15	30.4	19.6	23.5	57.00	6.4	8.4	—
16	25.0	18.6	21.3	81.00	6.0	—	5.5
17	26.1	18.6	21.2	85.00	3.9	1.8	2.6
18	30.4	17.0	22.4	78.00	4.7	9.5	1.4
19	21.8	17.5	19.4	77.00	5.4	5.8	—
20	27.1	18.0	22.3	66.00	4.3	7.7	—
21	27.1	18.0	22.0	73.00	3.9	9.7	—
22	28.3	17.0	22.0	62.00	6.5	7.8	—
23	22.4	18.0	19.4	100.00	2.5	—	56.0
24	19.6	18.0	18.6	100.00	—	—	451.0
25	19.6	18.0	18.3	100.00	—	—	226.0
26	19.0	18.0	18.2	100.00	2.8	—	39.2
27	18.3	17.8	18.0	100.00	—	—	177.6
28	22.8	18.0	20.0	100.00	—	—	262.2
29	26.0	19.1	21.1	90.00	1.1	3.8	7.1
30	23.4	19.1	21.0	86.00	3.5	1.7	—
31	25.0	19.1	21.0	90.00	1.9	—	0.8
合計	—	—	—	—	86.7	105.6	—
平均	32.6	17.0	21.1	83.90	3.6	(32.10)	1,765.5

## 三 試 驗 成 績

昭和十年九月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	24.8	18.0	19.9	90.00	1.7	4.0	6.5
2	24.8	17.7	20.2	81.00	3.5	2.1	—
3	25.9	18.0	20.7	81.00	2.1	2.8	—
4	25.4	17.5	20.5	81.00	3.8	4.0	—
5	27.0	18.0	21.2	77.00	3.8	4.6	—
6	24.2	18.0	21.2	80.00	4.3	1.4	—
7	24.8	17.5	19.8	81.00	2.0	1.7	2.5
8	25.9	17.8	20.9	81.00	2.0	5.1	5.2
9	24.8	18.0	20.6	85.00	5.0	—	28.8
10	24.8	18.0	20.8	82.00	2.7	2.0	0.6
11	24.8	18.5	20.5	81.00	2.4	3.4	—
12	25.9	17.5	20.5	85.00	2.2	5.5	—
13	24.2	18.0	19.8	81.00	4.0	6.3	—
14	25.9	17.5	19.9	76.00	2.4	—	22.4
15	20.5	18.0	19.1	100.00	2.6	—	26.1
16	24.2	18.7	20.9	100.00	—	—	99.2
17	21.5	18.5	19.9	100.00	—	—	61.5
18	21.0	18.0	19.2	100.00	0.8	—	25.5
19	24.8	18.0	20.2	90.00	0.7	1.6	3.6
20	24.8	16.5	19.1	76.00	3.0	2.8	—
21	24.2	17.0	19.1	85.00	1.9	2.3	—
22	22.5	17.5	18.8	85.00	1.3	1.7	3.1
23	21.5	16.0	18.3	80.00	1.6	1.9	1.8
24	20.0	15.0	17.4	84.00	1.8	3.0	—
25	21.5	14.0	16.4	84.00	2.0	—	—
26	18.5	14.5	15.8	78.00	2.2	—	3.0
27	17.0	14.6	15.4	100.00	0.6	—	13.1
28	18.0	14.0	16.0	100.00	0.3	—	20.0
29	20.5	16.0	17.4	100.00	0.2	—	15.0
30	20.5	15.0	17.1	89.00	0.4	—	9.4
合計	—	—	—	—	61.3	56.2	—
平均	27.0	14.0	19.0	86.40	2.2	(17.70)	347.3

昭和十年十月

日	氣 溫 C°</th
---	------------

## 三 試 驗 成 績

16	23.0	16.5	18.9	89.00	1.3	1.3	—
17	23.0	17.0	18.9	90.00	1.6	0.8	—
18	21.0	17.0	18.4	95.00	1.0	—	2.1
19	24.8	16.5	19.7	90.00	0.9	3.8	13.6
20	25.5	18.0	21.7	95.00	1.5	—	5.6
21	21.5	16.0	18.0	95.00	0.4	—	38.6
22	21.5	16.0	18.2	85.00	0.7	2.6	3.6
23	22.5	16.0	18.3	85.00	1.4	1.9	—
24	23.5	16.0	18.9	85.00	1.6	2.3	—
25	25.5	17.5	19.4	89.00	0.2	0.9	—
26	21.0	17.0	18.7	85.00	0.5	—	1.5
27	18.0	16.0	17.2	84.00	0.4	—	15.7
28	19.5	16.0	17.0	84.00	1.0	—	17.0
29	19.5	15.0	17.0	85.00	0.4	—	7.2
30	19.5	15.0	16.3	94.00	1.3	—	2.5
31	19.5	14.8	16.1	89.00	2.4	—	2.6
合計	—	—	—	—	40.0	43.0	—
平均	25.5	14.0	18.5	86.70	1.6	(13.10)	165.9

## 昭和十年十一月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	19.5	13.7	15.9	83.00	0.5	1.3	—
2	18.5	13.5	16.0	78.00	1.0	1.4	—
3	23.6	12.2	16.8	83.00	1.0	4.5	—
4	24.8	13.2	18.5	63.00	2.9	6.4	—
5	23.2	14.8	16.9	84.00	2.8	1.5	—
6	18.0	13.7	16.0	89.00	0.4	—	3.3
7	16.5	13.7	15.3	88.00	0.8	—	0.6
8	19.5	12.6	15.4	83.00	0.6	1.9	—
9	21.5	13.0	17.2	71.00	2.0	3.0	—
10	21.6	14.8	17.3	85.00	0.6	2.0	1.9
11	20.5	14.4	16.6	80.00	1.2	2.2	1.4
12	18.0	13.7	16.3	79.00	0.6	—	8.6
13	18.5	14.8	16.1	100.00	0.6	—	20.3
14	17.5	14.0	16.0	89.00	0.3	1.3	15.7
15	21.5	11.0	15.2	70.00	1.0	4.8	2.4
16	21.0	13.7	16.8	74.00	1.8	4.5	—
17	18.5	12.7	15.4	69.00	2.1	—	—
18	17.5	13.7	15.0	78.00	0.8	—	8.0
19	18.0	11.0	15.8	93.00	0.6	—	12.0
20	18.5	10.0	16.0	83.00	1.0	2.3	2.0
21	23.2	13.2	15.1	63.00	0.9	8.7	—
22	24.8	13.8	17.5	63.00	3.8	8.8	—
23	19.5	13.7	16.1	84.00	2.2	1.5	—
24	16.5	14.0	15.2	88.00	1.0	—	1.2
25	18.5	12.6	15.0	83.00	0.8	2.0	—
26	19.0	12.6	16.0	78.00	0.9	2.3	—
27	19.5	14.2	15.8	84.00	0.8	—	—
28	19.5	14.8	16.2	100.00	1.0	—	2.4
29	19.5	14.8	17.0	85.00	0.2	1.2	2.7
30	22.5	14.3	17.6	80.00	0.1	3.0	—
合計	—	—	—	—	34.3	64.6	—
平均	24.8	10.0	16.2	81.00	1.1	(23.30)	82.5

## 三 試 驗 成 績

## 昭和十年十二月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	23.8	15.3	17.3	94.00	2.6	2.1	—
2	17.0	12.2	14.6	83.00	0.3	—	2.3
3	14.8	11.0	12.6	77.00	0.6	—	—
4	15.2	10.6	12.7	83.00	0.6	1.0	0.7
5	17.0	12.1	14.3	89.00	0.6	1.3	1.6
6	16.4	12.8	14.4	89.00	0.5	0.8	3.9
7	20.0	11.0	16.2	89.00	0.6	3.2	0.4
8	22.0	10.6	15.2	61.00	2.1	8.8	—
9	23.5	13.5	18.5	78.00	2.0	—	—
10	15.4	9.4	12.2	66.00	1.3	1.0	—
11	17.0	9.4	12.4	87.00	1.2	—	1.0
12	16.4	10.0	12.1	88.00	0.6	1.2	3.4
13	15.4	10.6	12.8	82.00	0.4	1.3	0.6
14	13.2	11.0	12.1	82.00	0.5	—	—
15	16.4	11.0	13.6	77.00	0.6	—	0.6
16	18.5	12.7	15.4	89.00	1.3	1.2	—
17	20.5	11.7	15.3	84.00	0.5	—	5.8
18	10.5	8.0	9.9	100.00	0.4	—	7.8
19	13.2	7.4	10.0	81.00	0.6	2.7	0.5
20	16.4	10.0	12.0	82.00	0.4	—	—
21	15.9	10.0	12.7	83.00	0.7	1.7	—
22	16.9	8.4	11.3	76.00	0.6	1.2	1.4
23	16.4	7.4	10.3	66.00	1.4	3.2	—
24	16.4	6.9	11.4	66.00	1.1	2.8	—
25	17.0	11.6	14.3	87.00	0.6	—	4.7
26	25.8	12.7	17.1	70.00	0.7	6.2	1.0
27	24.5	13.0	18.8	83.00	2.5	2.6	—
28	17.5	11.8	17.0	88.00	1.3	—	0.4
29	19.0	11.0	14.0	78.00	1.0	3.2	—
30	15.4	10.0	12.0	76.00	1.5	1.2	0.6
31	16.4	10.0	12.7	77.00	0.7	0.8	0.2
合計	—	—	—	—	—	29.8	47.5
平均	25.8	6.9	13.7	81.00	1.0	(16.57)	36.9

## 昭和十一年一月

日	氣 溫 C°
---	--------

## 三 試 驗 成 績

16	13.2	9.5	11.2	100.00	0.4	—	4.2
17	13.5	7.0	10.3	83.00	0.2	—	2.2
18	10.4	2.6	5.8	83.00	0.7	1.4	—
19	12.0	5.8	7.9	80.00	0.9	—	—
20	12.0	7.0	8.4	70.00	1.0	—	—
21	9.4	6.3	7.5	78.00	0.3	—	—
22	11.6	7.4	9.2	99.00	0.2	—	7.5
23	18.0	10.2	13.2	100.00	0.3	—	2.1
24	24.8	13.8	17.4	89.00	2.0	7.9	1.2
25	13.2	9.4	11.6	100.00	0.8	—	0.7
26	11.0	8.4	9.4	100.00	0.2	—	6.3
27	12.6	8.4	10.2	87.00	0.6	—	1.6
28	22.6	10.0	14.4	57.00	0.9	4.3	—
29	15.4	11.0	12.7	88.00	2.0	—	—
30	16.5	10.5	13.5	87.00	0.6	—	0.5
31	15.4	9.5	13.0	87.00	0.3	—	0.6
合計	—	—	—	—	27.3	36.4	—
平均	24.8	2.6	11.7	86.10	0.9	(12.70)	42.4

## 昭和十一年二月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	20.5	9.0	12.0	68.00	0.9	4.4	—
2	7.9	6.4	7.2	100.00	1.0	—	3.7
3	11.0	7.3	9.2	100.00	0.3	—	2.1
4	14.2	7.9	10.8	94.00	0.4	1.0	3.1
5	18.0	10.0	13.2	88.00	0.7	—	0.6
6	15.8	12.7	13.7	88.00	1.0	—	—
7	12.6	10.4	11.6	87.00	0.5	—	1.4
8	17.0	10.0	13.9	88.00	0.5	—	0.4
9	16.0	10.5	12.6	88.00	0.7	—	1.7
10	12.2	7.4	10.0	100.00	0.8	—	10.9
11	8.0	6.4	7.0	94.00	0.3	3.0	6.0
12	11.0	7.0	8.4	100.00	0.2	—	13.2
13	15.8	6.3	10.5	90.00	0.3	—	7.2
14	19.5	9.5	13.8	78.00	0.2	—	—
15	15.3	11.6	12.9	88.00	0.3	—	1.3
16	19.0	12.0	14.1	87.00	0.2	—	2.3
17	22.6	12.7	15.9	89.00	0.8	—	1.8
18	22.0	12.6	15.7	84.00	0.3	6.0	1.5
19	17.5	12.6	15.9	85.00	1.3	0.9	—
20	20.5	15.4	17.0	90.00	0.3	—	1.3
21	15.4	13.2	14.0	94.00	0.8	—	5.8
22	22.5	12.7	16.5	94.00	0.2	3.9	1.1
23	16.5	11.6	13.4	100.00	0.3	—	16.8
24	17.5	12.2	14.3	100.00	0.3	—	3.3
25	22.6	13.8	17.3	89.00	0.9	3.0	—
26	16.0	11.6	14.1	100.00	0.2	—	4.4
27	16.5	11.6	13.5	100.00	0.2	4.7	19.1
28	16.5	10.7	13.2	94.00	0.3	—	2.5
29	13.2	7.4	10.0	94.00	0.4	—	5.5
合計	—	—	—	—	14.6	26.9	—
平均	22.6	6.4	12.8	91.40	0.5	(10.03)	117.0

## 三 試 驗 成 績

## 昭和十一年三月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	7.0	6.0	C°	%	mm		mm
2	12.1	6.2	6.4	100.00	0.5	—	10.5
3	14.3	8.4	9.3	86.00	0.5	0.7	6.5
4	13.2	8.2	12.8	94.00	0.6	—	1.1
5	10.5	8.0	9.0	90.00	0.9	—	2.1
6	12.6	8.2	9.8	94.00	0.1	—	6.5
7	11.6	9.2	9.8	87.00	0.3	—	3.1
8	9.7	7.4	8.4	93.00	0.2	—	3.5
9	10.0	7.4	8.4	93.00	0.3	—	2.1
10	14.3	8.4	10.6	93.00	0.7	—	—
11	19.5	11.6	15.0	89.00	1.0	0.4	—
12	19.5	15.5	17.3	97.00	1.2	—	3.6
13	26.3	15.0	19.7	90.00	1.4	9.6	—
14	16.5	9.4	12.0	100.00	3.0	—	8.4
15	14.3	6.2	9.3	94.00	0.5	3.2	12.0
16	14.8	8.4	10.8	94.00	0.9	—	0.8
17	18.5	11.6	15.0	79.00	0.9	0.6	0.7
18	20.5	13.2	16.0	94.00	1.8	3.6	—
19	14.9	12.7	9.8	88.00	1.4	1.7	1.1
20	17.5	10.1	14.3	94.00	1.5	26.2	—
21	17.5	14.0	15.1	89.00	0.9	0.3	0.8
22	18.5	13.4	15.3	94.00	0.4	0.5	2.0
23	16.5	12.8	14.7	89.00	0.8	1.2	8.9
24	19.0	14.0	15.5	78.00	4.5	—	4.9
25	18.5	9.7	14.0	78.00	1.0	—	5.5
26	12.4	8.5	10.4	70.00	2.4	—	—
27	15.5	9.7	12.3	76.00	1.0	—	—
28	18.5	12.5	14.8	83.00	0.8	—	1.3
29	18.5	13.0	15.2	79.00	1.0	1.0	—
30	16.0	15.4	13.2	94.00	1.4	2.2	—
31	16.5	9.8	12.6	74.00	1.5	—	—
合計	—	—	—	—	32.2	52.4	—
平均	26.3	6.0	12.5	89.10	1.0	(8.70)	86.0

## 昭和十一年四月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	溫 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					

16	17.0	13.2	14.4	94.00	0.3	—	3.7
17	21.5	12.7	16.0	84.00	1.2	1.9	0.5
18	23.2	15.4	19.0	80.00	1.8	3.8	—
19	25.4	15.4	20.0	68.00	3.3	9.4	—
20	24.4	16.0	19.6	68.00	4.6	6.4	—
21	23.6	17.0	19.2	68.00	3.6	4.6	—
22	25.4	16.0	20.4	72.00	3.5	8.0	—
23	20.0	17.0	18.1	90.00	3.6	—	—
24	26.4	15.9	20.1	72.00	0.8	8.2	—
25	26.4	17.0	19.0	47.00	5.5	3.4	—
26	20.5	16.5	18.4	90.00	2.6	—	5.3
27	28.0	16.0	20.8	55.00	1.0	7.3	0.4
28	29.6	17.5	21.3	53.00	5.7	9.8	—
29	29.6	17.0	21.8	55.00	6.0	10.4	—
30	21.0	17.0	18.5	90.00	7.8	1.0	—
合計	—	—	—	—	73.5	115.9	—
平均	29.6	8.5	17.2	76.70	2.5	(34.00)	50.6

昭和十一年五月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	濕 度	蒸 發 量	日 照 時 數	雨 量
	最 高	最 低					
1	18.5	15.8	17.0	95.00	0.8	—	2.7
2	23.5	15.8	18.7	89.00	0.1	5.8	7.5
3	23.5	18.0	20.0	89.00	3.2	2.0	—
4	23.5	17.5	19.0	80.00	0.9	1.9	—
5	23.6	17.0	20.0	81.00	2.2	2.6	—
6	23.6	17.5	20.0	81.00	2.7	—	4.7
7	20.5	17.5	18.7	95.00	2.3	0.7	26.8
8	27.0	16.0	20.8	77.00	1.0	10.3	1.5
9	21.5	17.0	18.8	90.00	5.7	—	—
10	23.5	17.0	19.3	85.00	1.2	4.6	2.3
11	23.0	17.0	19.3	90.00	2.5	—	3.1
12	30.0	16.5	20.6	76.00	2.0	6.7	—
13	26.9	16.5	22.5	53.00	5.5	10.0	—
14	23.5	18.0	21.4	67.00	7.3	5.7	—
15	25.8	18.0	19.7	90.00	4.0	—	—
16	25.8	18.0	20.4	80.00	2.4	1.6	8.7
17	22.5	18.0	20.0	73.00	2.2	0.6	1.1
18	29.0	18.0	22.0	50.00	2.6	9.0	2.2
19	29.0	18.0	21.5	55.00	6.3	5.6	—
20	24.7	17.5	19.8	67.00	5.0	4.3	—
21	21.0	17.5	18.8	90.00	3.4	—	31.6
22	19.5	17.5	18.0	100.00	3.0	—	17.0
23	22.0	17.0	19.0	80.00	1.0	3.2	3.0
24	24.8	17.0	20.3	77.00	2.5	5.4	—
25	24.8	17.5	19.9	81.00	3.0	4.5	3.3
26	21.0	17.0	18.7	85.00	3.6	—	—
27	21.5	16.5	18.6	90.00	1.3	—	5.5
28	22.5	16.5	18.8	85.00	1.5	2.0	—
29	20.5	17.5	19.3	85.00	1.0	—	15.0
30	26.9	18.5	21.5	70.00	0.4	2.4	—
31	23.0	18.0	20.1	90.00	3.2	1.7	—
合計	—	—	—	—	83.8	90.6	—
平均	30.0	15.8	19.8	80.50	2.7	(27.80)	136.0

昭和十一年六月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	濕 度	蒸 發 量	日 照 時 數	雨 量
	最 高	最 低					
1	23.8	19.0	21.0	81.00	2.2	1.6	2.4
2	27.4	19.0	22.2	86.00	1.7	5.6	0.3
3	31.2	20.0	23.3	58.00	4.5	10.0	—
4	28.0	19.5	22.4	60.00	6.5	4.8	21.5
5	20.5	19.0	19.4	100.00	3.5	—	25.0
6	21.5	18.5	19.7	100.00	0.2	—	7.7
7	24.8	18.5	19.1	100.00	0.1	—	10.6
8	21.0	18.5	20.1	90.00	0.1	—	5.1
9	22.6	18.5	19.7	100.00	0.4	—	69.0
10	24.4	18.0	19.6	90.00	0.3	—	22.5
11	25.8	18.0	20.5	86.00	0.3	—	—
12	26.9	18.5	21.3	73.00	2.9	2.5	—
13	28.0	18.5	22.1	74.00	3.1	6.0	—
14	29.0	18.5	23.0	67.00	5.0	10.5	—
15	29.0	18.0	22.2	70.00	5.5	9.3	—
16	29.0	19.0	23.2	74.00	5.2	9.7	—
17	29.0	19.0	23.3	67.00	5.8	10.5	—
18	29.0	18.5	23.0	60.00	6.2	10.6	—
19	28.0	17.0	23.5	53.00	6.4	8.9	—
20	30.6	17.0	23.2	46.00	5.8	10.5	—
21	30.6	17.5	22.2	67.00	7.3	9.8	—
22	26.9	19.5	21.3	—	5.5	5.2	—
23	26.9	18.0	21.0	60.00	5.0	4.6	—
24	23.2	17.5	19.0	81.00	4.3	1.3	25.8
25	25.4	18.0	19.7	81.00	4.0	3.2	26.4
26	24.8	17.5	20.4	70.00	2.1	5.3	9.5
27	25.2	18.0	20.4	81.00	3.6	1.9	—
28	25.4	18.5	21.2	78.00	2.8	4.0	—
29	24.2	18.0	21.0	82.00	4.0	1.2	14.0
30	24.8	19.0	21.3	81.00	1.6	3.0	12.6
合計	—	—	—	—	105.9	140.1	—
平均	31.2	17.0	21.3	76.50	3.5	(42.80)	252.4

昭和十一年七月

日	氣 溫 C°		平均氣溫</th
---	--------	--	----------

## 三 試 驗 成 績

16	33.0	21.0	21.5	74.00	3.6	2.6	—
17	29.0	19.0	19.7	69.00	2.2	1.3	0.2
18	27.0	19.0	18.3	95.00	—	1.0	53.8
19	25.0	18.0	20.0	73.00	1.6	0.2	58.4
20	27.5	19.0	20.9	67.00	2.2	3.6	—
21	29.0	19.0	21.7	67.00	2.5	6.3	—
22	30.5	19.0	22.3	68.00	4.4	7.4	—
23	32.5	20.0	22.3	74.00	4.6	5.1	—
24	29.5	19.0	22.3	67.00	5.6	4.0	—
25	29.0	20.0	19.8	90.00	0.4	—	1.8
26	23.5	17.5	19.9	90.00	—	1.8	59.7
27	27.0	17.5	20.3	74.00	2.1	6.3	—
28	30.0	17.0	20.4	63.00	3.9	7.6	—
29	29.0	18.0	20.0	63.00	5.0	3.8	—
30	29.0	19.0	20.0	82.00	1.7	0.5	20.1
31	27.0	19.0	19.8	90.00	0.1	—	1.5
合計	—	—	—	—	103.6	150.9	—
平均	33.0	17.0	19.8	73.00	3.6	(40.00)	238.2

昭和十一年八月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	濕 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	26.0	19.0	19.4	100.00	5.8	—	50.4
2	22.5	19.0	20.2	95.00	5.6	2.2	56.3
3	26.0	20.0	20.6	73.00	2.0	1.7	10.1
4	26.5	19.5	21.4	73.00	1.5	4.2	6.9
5	30.0	20.0	21.1	70.00	4.0	7.6	—
6	31.0	17.0	21.1	69.00	4.4	6.4	—
7	29.0	19.0	20.8	77.00	4.0	2.0	—
8	28.5	19.0	20.5	73.00	3.3	3.9	—
9	29.5	18.5	20.8	77.00	2.1	3.2	—
10	28.5	17.5	20.3	57.00	3.5	5.3	—
11	30.5	19.0	19.1	70.00	2.4	—	8.0
12	29.0	18.5	20.2	100.00	—	—	52.1
13	22.5	19.0	20.4	100.00	—	—	124.3
14	27.0	19.0	20.0	90.00	3.7	1.8	40.3
15	29.5	18.0	—	58.00	2.4	—	—
16	26.5	19.5	—	100.00	—	—	125.4
17	23.0	19.5	21.4	100.00	—	2.6	186.5
18	29.5	18.5	21.4	70.00	2.4	6.6	—
19	30.5	19.5	22.4	64.00	4.5	4.7	—
20	31.0	19.5	21.3	70.00	1.3	2.0	0.9
21	28.0	20.0	21.6	67.00	1.0	4.2	0.5
22	29.5	19.5	20.9	81.00	3.0	0.3	—
23	26.5	19.0	21.1	81.00	1.6	2.4	—
24	31.0	18.5	22.1	63.00	3.6	7.4	—
25	30.0	19.0	22.0	67.00	4.5	—	—
26	31.0	20.5	23.1	56.00	3.6	5.9	—
27	32.5	20.5	22.1	57.00	3.6	6.7	—
28	29.0	21.5	20.9	70.00	3.9	2.9	—
29	27.5	19.5	20.3	73.00	2.1	1.1	—
30	26.0	19.0	20.1	67.00	0.8	0.9	9.4
31	27.5	18.0	17.9	66.00	2.5	3.7	1.36
合計	—	—	—	—	83.1	89.7	—
平均	32.5	17.0	17.9	75.30	3.0	(24.00)	664.3

## 三 試 驗 成 績

昭和十一年九月

日	氣 溫 C°		平均氣溫	濕 度	蒸發量	日照時數	雨 量
	最 高	最 低					
1	28.0	18.5	20.7	77.00	2.9	2.3	1.3
2	30.5	18.5	20.3	74.00	3.5	2.8	—
3	28.0	18.5	21.3	81.00	2.4	3.0	7.3
4	30.0	20.0	20.8	95.00	2.1	—	22.3
5	29.5	25.0	19.8	95.00	6.7	0.7	95.2
6	24.0	19.0	19.0	100.00	1.3	—	7.1
7	24.0	17.5	20.1	81.00	0.8	—	2.1
8	25.5	18.0	20.1	90.00	1.3	0.8	0.7
9	27.5	18.0	19.7	81.00	1.5	0.3	0.3
10	29.0	18.5	20.9	63.00	3.0	4.9	—
11	29.5	18.0	20.5	90.00	2.6	1.3	—
12	27.0	19.0	21.6	81.00	1.8	1.4	—
13	27.0	17.5	21.5	74.00	2.7	3.4	—
14	28.5	17.5	21.1	77.00	2.6	4.1	—
15	28.5	17.5	21.4	77.00	3.1	5.0	0.8
16	31.5	18.5	22.1	60.00	3.7	6.0	—
17	30.5	19.0	20.8	85.00	4.0	—	—
18	25.0	18.0	20.0	90.00	1.0	—	25.3
19	23.0	16.5	20.0	85.00	6.4	—	9.9
20	25.5	17.5	21.2	70.00	1.8	0.4	1.3
21	28.0	18.5	21.4	73.00	2.6	2.6	1.6
22	29.0	18.0	20.7	77.00	2.9	—	—
23	27.0	17.0	20.8	65.00	4.5	3.0	29.8
24	26.0	17.5	21.1	77.00	1.2	0.9	9.6
25	27.0	17.5	20.9	73.00	1.3	—	0.3
26	26.5	17.0	19.1	85.00	1.3	—	27.0
27	22.5	14.0	16.9	71.00	1.3	2.5	5.0
28	22.0	13.0	18.1	67.00	2.6	—	—
29	26.5	15.0	19.4	68.00	2.7	2.9	—
30	26.0	15.5	20.6	80.00	2.7	3.6	—
合計	—	—	—	—	78.3	51.9	—
平均	31.5	13.0	20.6	78.70	2.6	(21.00)	248.6

各月平均氣象表

月 別
-----

昭和十年 1	24.8	2.6	11.7	86.10	0.9	1.2	42.4
2	22.6	6.4	12.8	91.40	0.5	0.9	117.0
3	26.3	6.0	12.5	89.10	1.0	1.7	86.0
4	29.6	8.5	17.2	76.70	2.5	3.9	50.6
5	30.0	15.8	19.8	80.50	2.7	2.9	136.0
6	31.2	17.0	21.3	76.50	3.5	4.7	252.4
7	33.0	17.0	19.8	73.00	3.6	4.9	238.2
8	32.5	17.0	17.9	75.30	3.0	2.9	664.3
9	31.5	13.0	20.6	78.70	2.6	1.7	248.6

## 四 結 論

萌芽穂ハ活着最大ニシテ 61.05% 生育シ亦最モ速カナリ。

## 摘 要

(一) 規那樹母樹ヨリ挿木苗ヲ得ル目的ヲ以テ側枝中間穂側枝先端穂(着葉), 側枝先端穂(半切葉), 側枝先端穂(切葉)及ビ萌芽穂ノ五種ノ穂ヲ作リテ其活着並ニ生長ヲ試験セリ。

(二) 母樹ハ臺東廳知本臺灣星製藥株式會社規那造林所ニテ大正十五年六月植栽セル[レドゲリアーナ]種ナリ。

(三) 挿穂材料ハ昭和十年五月四日, 五日ニ探集シ臺東廳大武支廳蕃地マリブル臺灣總督府中央研究所藥用植物試驗地ニ於テ昭和十年五月六日前記五種ニ穂揃シテ挿付ケタリ。

(四) 活着率(得苗率)ハ萌芽穂最モ大ニシテ 61.05% 側枝先端穂(着葉)之ニ次ギ 21.50% 側枝先端穂ノ中半切葉及ビ切葉ハ著シク小ニシテ前者ハ 2.50% 後者ハ 1.75% ナリ。側枝中間穂ハ活着スルモノナク盡ク枯死セリ。

(五) 生長ハ萌芽穂最モ速カニシテ側枝先端穂(着葉)之ニ次ゲリ。

(六) 新生枝ハ癒傷組織ノ生成速カナルモ古キモノ(側枝中間穂)ハ癒傷組織ヲ生ゼザルカ又ハ切口周圍ニ僅ニ生ズルモノミナリ。

(七) 側枝先端穂及ビ萌芽穂ニ於テハ直徑比較的大ナルモノハ小ナルモノヨリ皮目ノ膨張多ク貯藏養分ノ大ナルト相俟ツテ癒傷組織ノ形成及ビ發根早ク生長迅速ナリ。皮目ノ發達ヲ助長センガ爲ニハ挿穂ト床上ヲ密着セシムルヲ要ス之ガ爲ニハ團子挿ノ如キハ適當ナル方法ナルベシ。

(八) 発根ハ主トシテ癒傷組織ニ接スル皮部又ハ切口脊面皮目ヨリナスヲ以テ切口周圍ノ長サヲナルベク大ナラシムル如ク仕立ツルヲ要ス。癒傷組織面ヨリハ殆ド発根セズ。

(九) 挿付時切口皮ノ剝離セルモノハ癒傷組織ノ生成遲ク從ツテ發根遲レ生長劣ル。

(一〇) 挿付後約三箇月ニシテ萌芽穂ハ發根シ側枝先端穂ハ一部僅少ノ發根ヲナセリ。

(一一) 挿付後九箇月ニシテ萌芽穂ハ既ニ本植スルヲ得ベシ。

(一二) 側枝先端穂ヲ用フルモノニアリテハ當年開花スルモノアルモ殆ド結實セズ。

(一三) 挿木苗ハ實生苗ニ反シ比較的長大ナル第一次根ノ發生多ク概ネ水平ノ擴張ヲナシ垂直ノ延伸少ク第二次以下ノ支根數ハ比較的少シ。

(一四) 挿木苗ハ規那臺灣疫病ニ侵サルモノ殆ドナカリキ。

## 文 献

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 柳田由藏        | 潤葉樹挿木試驗(林業試驗彙報第十一號) |
| 佐藤敬二        | 杉ノ挿木ニ關スル理論的研究       |
| 藤島信太郎       | 更新論的造林學             |
| 本田靜六        | 造林學本論ノ四、接木及ビ挿木造林法   |
| 山本精         | 規那栽培試驗(林業試驗場報告第七)   |
| 「ファン・レールサム」 | 規那(臺灣藥用植物調查資料)      |
| 見波定治        | 顯微鏡的植物學實驗法          |
| 神田正梯        | 實驗觀察植物學講義           |
| 神野清治郎       |                     |

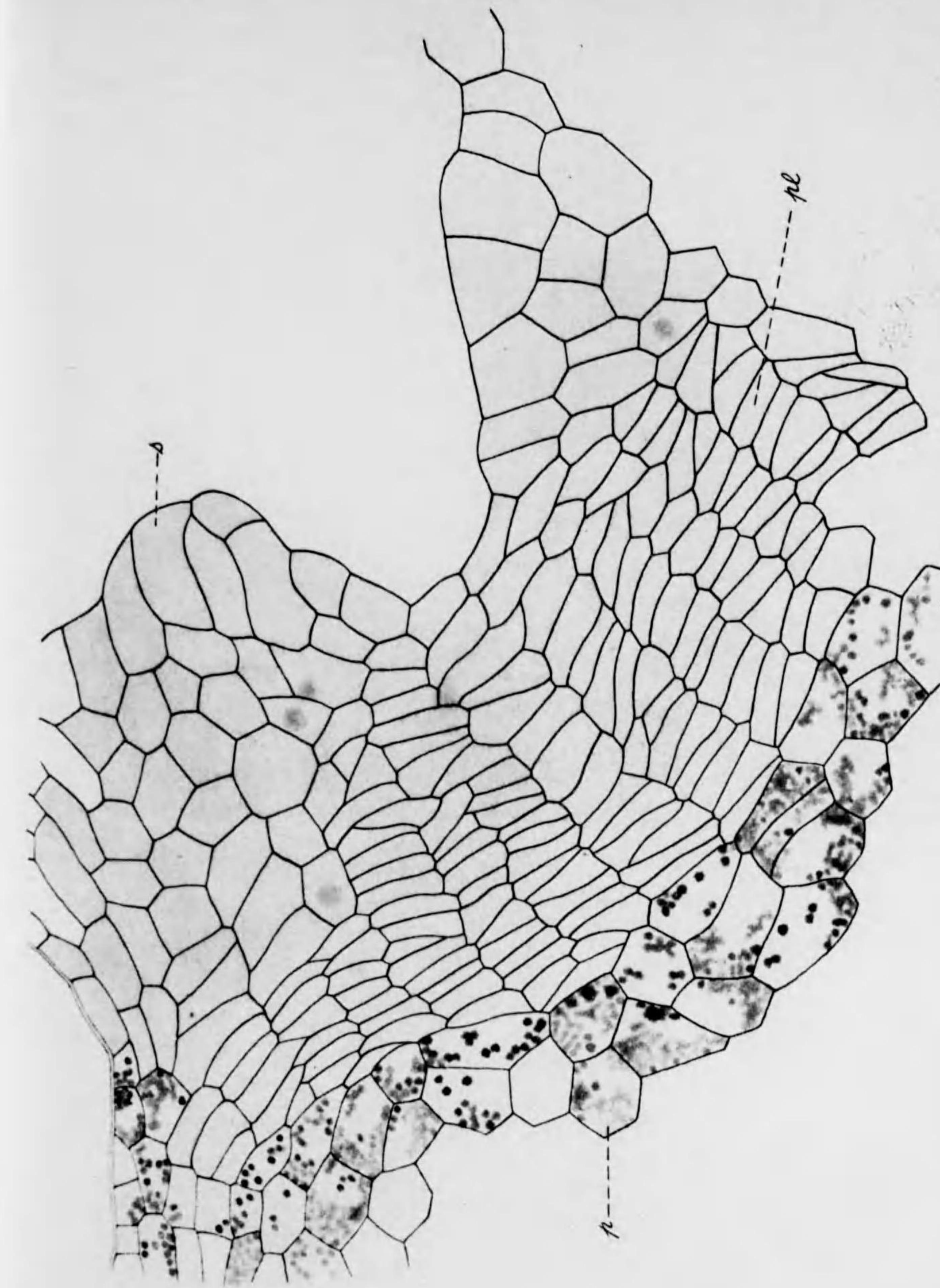
第一圖版

第一圖版說明 皮目ノ縦斷面(約625倍) (原圖)

s. 海綿狀木栓細胞

pl. 栓皮形成層

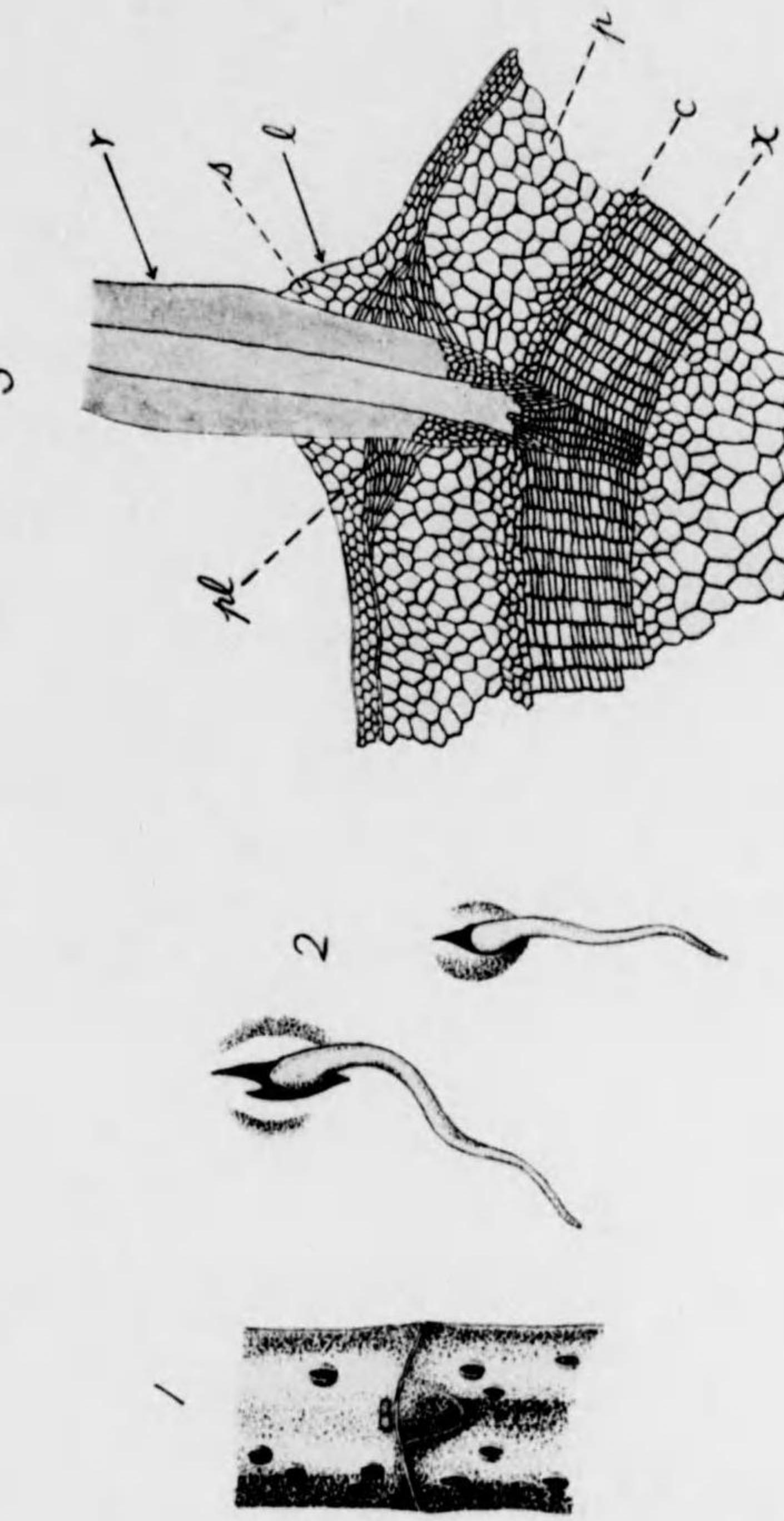
p. 柔細胞



第二圖版

第二圖版說明

1. 膨張セル皮目(擴大) (原圖)
  2. 皮目ヨリ發根ノ状態(擴大) (原圖)
  3. 皮目ヨリ發根ノ状態(約五十八倍) (原圖)
- r. 支根
1. 膨張セル皮目
  - pl. 桧皮形成層
  - s. 海綿狀木栓細胞
  - p. 索細胞
  - c. 形成層
  - x. 木質部



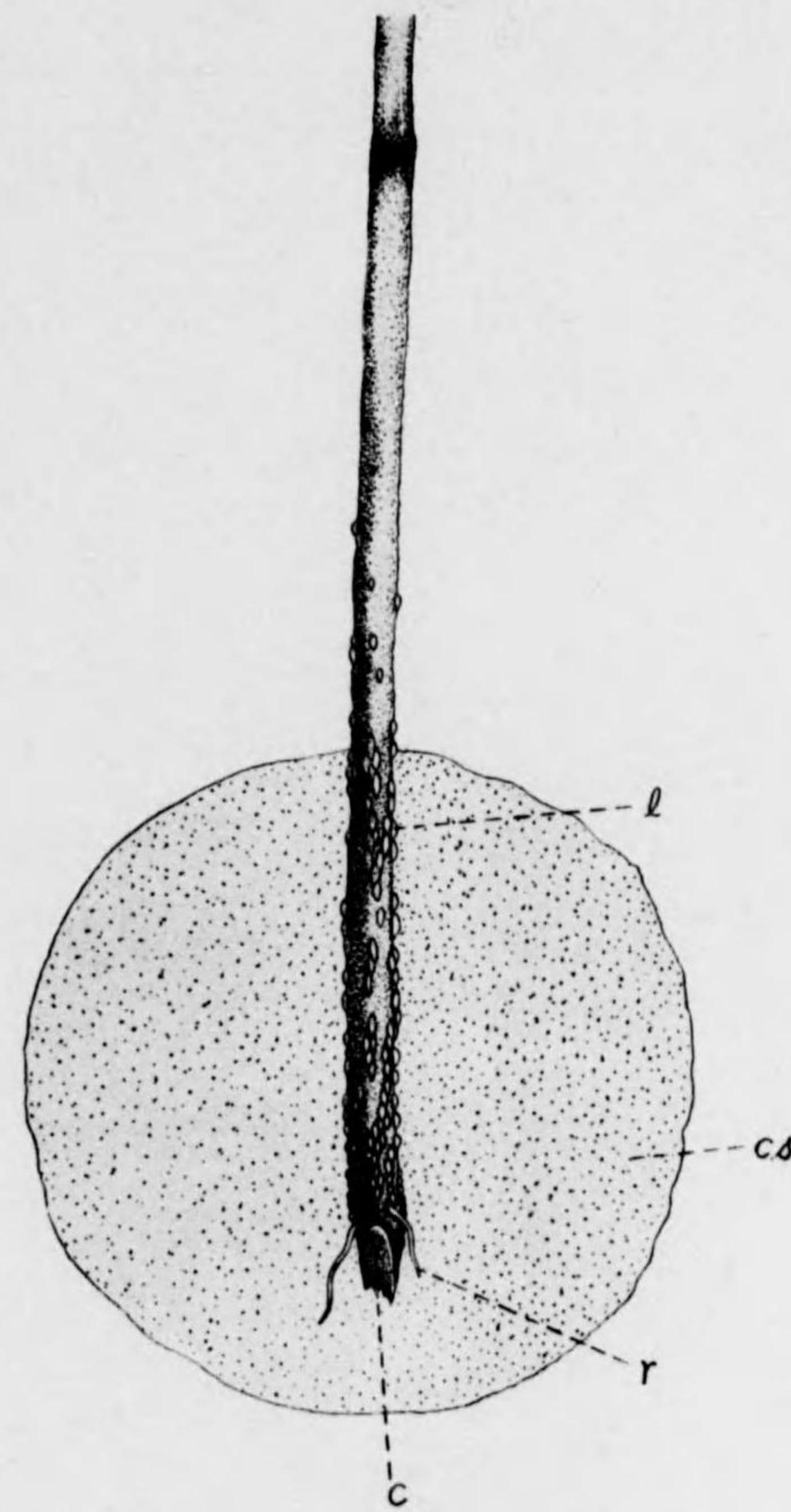
第三圖版

第三圖版説明 團子狀粘土ニ挿付ケタル[レドゲリアーナ]

挿穂挿付部ニ於ケル夥シキ膨張セル皮目

ヲ示ス) (原圖)

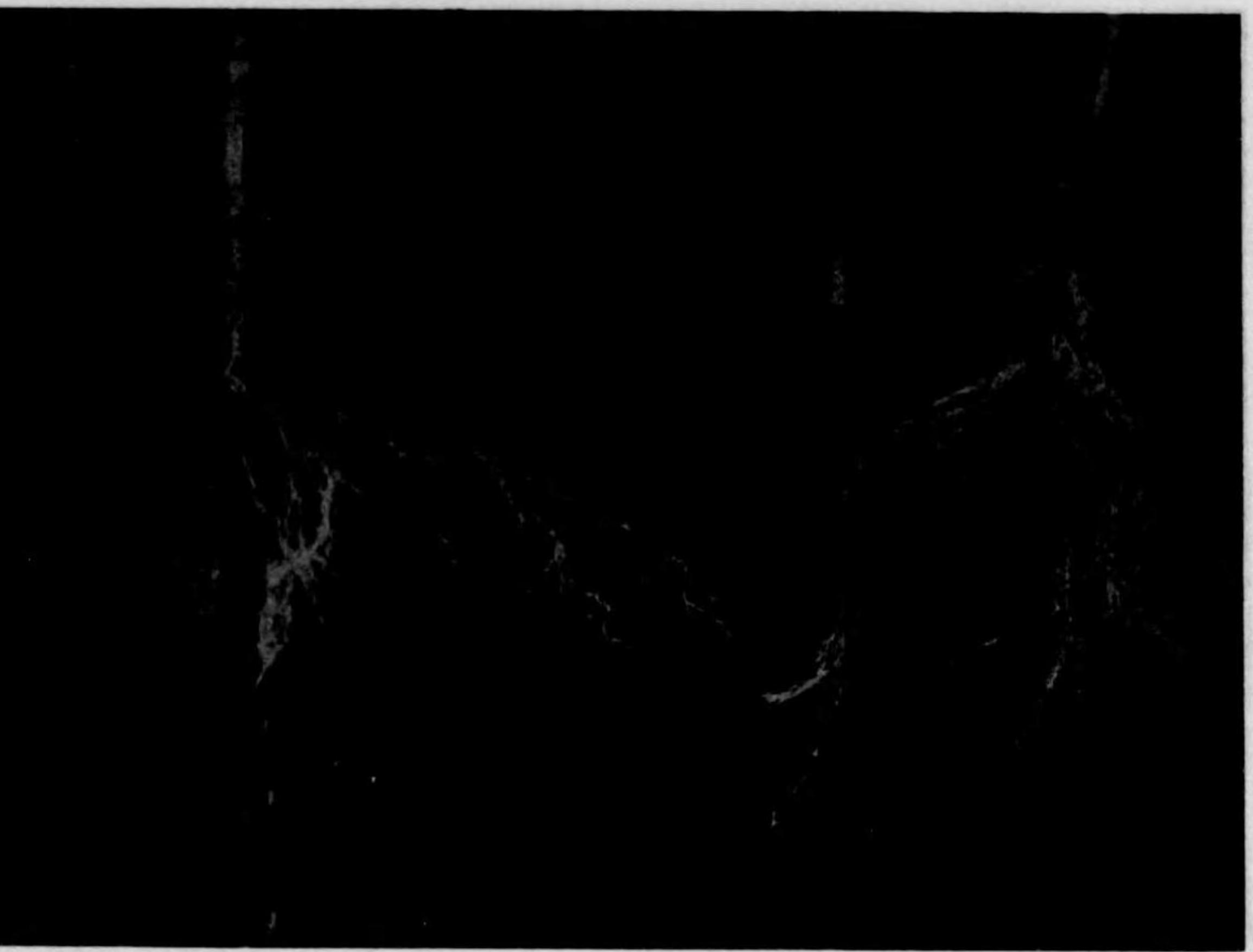
1. 膨張セル皮目
- r. 支根
- c. 切口(枯死)
- es. 團子狀粘土



第四圖版

第四圖版說明 捅木苗ト實生苗ノ根系ノ比較 (原圖)

- I. 捅木苗
- II. 實生苗



I

II

第二 規那種子ノ形質ガ其ノ發芽、苗木及ビ成木  
ニ及ボス影響ニ關スル研究 第一報

## 目 次

緒 言.....	1
一 朔果及種子概說.....	1
(一) 朔 果.....	1
(二) 種 子.....	2
イ 形 狀.....	2
ロ 色 澤.....	2
ハ 大 サ.....	3
ニ 一瓦當粒數.....	3
二 種子ノ分類.....	4
三 分類セシ種子ノ外部形態上ノ比較.....	4
(一) 完大種子.....	4
(二) 完小種子.....	4
(三) 淡色種子.....	4
(四) 三角形種子 .....	5
(五) 赤褐色種子 .....	5
(六) 周縁不明瞭種子 .....	5
(七) 障得種子.....	5
四 分類セシ種子ノ内部形態的比較 .....	5
(一) 完大種子.....	5
(二) 完小種子.....	5
(三) 淡色種子.....	6
(四) 三角形種子 .....	6
(五) 赤褐色種子 .....	6
(六) 周縁不明瞭ナル種子 .....	6
五 一瓦中ニ含マル各種種子ノ数量.....	7
六 発芽試験 .....	7
(一) 箱 播 .....	7

(二) 「テルル酸曹達」=ヨル發芽力検定	8
<b>七 養苗試験</b>	8
(一) 發芽及ビ播種床ニ於ケル得苗率	9
(二) 第一回床替	10
(三) 第二回床替	10
<b>八 結 言</b>	12
摘要	13
文 献	14
圖 版	

## 第二 種子ノ形質ガ發芽、苗木及ビ成木ニ及ボス影響ニ關スル研究 第一報<sup>(1)</sup>

技 手 飯 塚 曜

### 緒 言

造林上種子選択ノ肝要ナルハ言ヲ俟タズ同一母樹ヨリ得タル種子ニ於テモ粒ノ大小色澤等ガ所産苗ニ影響ヲ及ボスハ從來屢々實驗セラレタルリコロナリ。

爪哇ニ於テハ規那種子ヲ播種前選別スルヲ普通トシ之ニヨリ發芽ノ齊一ヲ期シ優良均一ナル子苗ヲ得ントセルモノノ如シ<sup>(2)</sup>。本島ニ於テハ未ダ規那樹造林ニ當リテ種子ノ選別ヲ行フヲ聞カズ。規那樹ノ如キ極メテ集約ナルベキ特殊樹種ノ造林ニハ種子ノ選別ハ特ニ要求セラルベキモノナリト思考セラルモノナリ。

因ツテ茲ニ規那樹一般造林品種タル *Cinchona Ledgeriana Moens* =就テ種子ノ各形質別ニ發芽及苗木生長ヲ検シ更ニ之ガ植栽後ノ生長量及ビ「アルカロイド」特ニキニー社含量ニ對スル關係ノ有無ヲ闡明セントス。然レドモ植栽木生長量調査及ビ「アルカロイド」含有量ノ分析調査ニ對シテハ尙藉スニ數年ヲ要スペク取敢ズ發芽及ビ子苗ノ生長ニ關スル一二ノ結果ヲ報告シ他ハ後日ニ譲ルコトトセリ。

本研究ヲ指示サレ且指導ト助力ヲ與ヘラレタル林業部勤務技師松浦作治郎氏ニ對シ爰ニ深甚ナル謝意ヲ表ス。

### 一 剥果及種子概說

#### (一) 剥 果

臺東廳臺東支廳知本星製藥規那造林所產ノ剥果ヲ調查セシ處ニ依レバ剥果ハ徑3—4耗長サ約1粁長卵形ヲナシ隔膜ニヨリ二室ニ岐タル。未熟ナルモノハ其程度ニヨリ帶青白色淡紅色紅色ニシテ熟スレバ暗褐色ヲ呈ス。胎座ハ隔膜ニ長ク著生シ周團ニ屋瓦狀ニ排列セル種子附著ス。熟期ニ至リ剥果裂開ス

(1) 臺灣總督府中央研究所林業部第一殖育試驗室業績 第六

(2) 中井刈米兩氏 爪哇觀察復命書









## (二) 第一回床替

昭和十一年六月十日第一回床替ヲナセリ。各別平均生長量次表ノ如シ。但シ各別同數ニ大、中、小ニ三別シ、平均ノ大イサト認メラルモノ各一本ヲ掘取り計測セリ。

種 子 別	地 上 部		根 部	
	長 サ cm	重 量 gr	長 サ cm	重 量 gr
完 大 種 子	大	9.7	1.40	11.3
	中	5.4	0.40	10.5
	小	3.0	0.20	10.0
	平 均	6.0	0.67	10.6
完 小 種 子	大	8.2	1.00	10.0
	中	5.0	0.50	8.4
	小	3.0	0.10	8.0
	平 均	5.4	0.53	8.8
淡 色 種 子	大	9.2	1.20	12.2
	中	6.6	0.40	11.4
	小	2.0	0.10	3.8
	平 均	5.9	0.57	9.1
三 角 形 種 子	大	8.3	1.00	10.0
	中	4.8	0.30	9.0
	小	1.4	0.10	8.0
	平 均	4.8	0.47	9.0
赤 褐 色 種 子	大	5.0	0.40	10.0
	中	2.6	0.20	7.8
	小	2.6	0.10	5.4
	平 均	3.4	0.23	7.4
周線不明瞭ナル種子	大	3.0	0.40	6.8
	中	1.8	0.10	8.4
	小	1.6	0.10	8.0
	平 均	2.1	0.20	7.4

即チ地上部ノ生長ハ完大種子及淡色種子最モヨク、根部ハ完小種子最モ發達セリ。周線不明瞭ナル種子及ビ赤褐色種子ハ生長著シク不良ニシテ、三角形種子ハ其間ニアリ。

## (三) 第二回床替

昭和十一年九月二十八日第二回床替ヲナセリ。各別平均生長量次表ノ如シ。

但シ各別同數ニ大、中、小ニ三別シ平均ノ大イサト認メラルモノ各三本ニ就テ測定シ之ヲ平均セリ。

種 子 別	地 上 部 長 cm	根 元 直 徑 cm
完 大 種 子	大	19.3
	中	14.5
	小	8.3
	平 均	14.0
完 小 種 子	大	21.9
	中	11.4
	小	6.3
	平 均	13.2
淡 色 種 子	大	14.3
	中	10.7
	小	3.9
	平 均	9.6
三 角 形 種 子	大	16.7
	中	9.8
	小	4.3
	平 均	10.3
赤 褐 色 種 子	大	9.3
	中	7.1
	小	3.1
	平 均	6.5
周線不明瞭ナル種子	大	9.5
	中	5.3
	小	3.1
	平 均	6.0

規那臺灣疫病(規那臺灣疫病菌 Phytophthora Cinchonae Sawada = 依ル)ノ發生ニ依リ地上部及ビ根部ノ重量ヲ正確ニ計測スルヲ得ズ、地上部長及ビ根元直徑ノミヲ測定シ比較スルコトトセリ。

上表ニヨリ比較セバ地上部ノ生長ハ完大種子、完小種子最モ良好ニシテ赤褐色種子、周線不明瞭ナル種子ハ最モ不良、淡色種子、三角形種子ハ其間ニ在リ。完大種子、完小種子ニ於テハ完大種子ノ大小ノ較差小ナルニ比シ完小種子ハ較差大ナリ。

第二回床替本數次表ノ如シ。

種子別	第一回床替本數	第二回床替本數	枯死數	枯死率(%)
完大種子	312	228	84	28.92
完小種子	285	186	99	34.74
淡色種子	294	181	113	38.44
三角形種子	298	180	118	39.60
赤褐色種子	30	19	11	36.67
周線不明瞭ナル種子	51	33	16	35.29

六月以降(雨期)ニ於テハ適温適濕ト相俟ツテ規那臺灣疫病ノ發生多ク上記ノ如キ枯死苗ヲ出セリ。依ツテ第二回床替ニ當リテハ枯死根及ビ葉ハ新葉ヲ残シ他ハ盡ク剪除シテ植付ケタリ。然レドモ床替後尙本病ニヨリ枯死スルモノアリ次表ノ如シ。

種子別	第二回床替後枯死數	枯死總數	枯死率(%)	11. 11. 20 現在數	1,000粒ニ對スル得苗率(%)
完大種子	101	185	59.29	127	12.70
完小種子	59	158	55.44	127	12.70
淡色種子	107	220	74.83	74	7.40
三角形種子	73	191	64.09	107	10.70
赤褐色種子	8	19	63.33	11	1.10
周線不明瞭ナル種子	28	46	90.20	5	0.50

即チ枯死率ハ完小種子, 完大種子, 赤褐色種子, 三角形種子, 淡色種子, 周線不明瞭ナル種子ノ順ニ少シ。假リニ同様ニ病菌ヨリ攻撃サレタリトセバ此順ニ規那臺灣疫病ニ對スル抵抗力大ナル可キカ。播種粒數ニ對スル得苗率ハ規那臺灣疫病發生ノ結果完大種子及ビ完小種子ハ同率ニシテ最モ大, 三角形種子及ビ淡色種子之ニ次ギ赤褐色種子及周線不明瞭ナル種子ハ著シク少シ。

## 八 結 言

(一) 「シャーレ」及ビ「テルル酸曹達」ニヨル發芽率検定ノ結果ニヨレバ完大種子, 完小種子, 淡色種子ハ發芽率高ク他ハ比較的不良ナリ。

(二) 之ニ反シ播種床ニ於ル發芽率ハ周線不明瞭ナル種子及ビ赤褐色種子最モヨク淡色種子及ビ三角形種子ハ最モ不良ニシテ完大種子及ビ完小種子ハ其

間ニアリ。然レドモ發芽後第一回床替ニ至ル期間ニ於テ發芽率ノ大ナル赤褐色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ノ大部分ハ枯死シ發芽率ノ小ナル三角形種子及ビ淡色種子ハ枯死率最モ少ク完大種子及ビ完小種子ハ其間ニアリ。結局採種床ニ於ル得苗率ハ赤褐色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ハ著シク小, 他ハ略々同様ニシテ發芽試験ニヨリ得タル結果ニ近似セル結果ヲ得タリ。

(三) 第1回及第2回床替時ニ於ル生長量ハ完大種子, 完小種子最モ大ニシテ淡色種子, 三角形種子之ニ次ギ赤褐色種子, 周線不明瞭ナル種子ハ著シク不良ナリ。完大種子, 完小種子ニ於テハ前者ノ大小ノ較差小ナルニ比シ後者ハ較差大ニシテ不揃ナリ。

(四) 規那臺灣疫病ニ對スル抵抗力ハ完小種子最モ大ニシテ, 完大種子之ニ次ギ, 淡色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ハ最モ小, 三角形種子及赤褐色種子ハ其間ニアリ。

(五) 1,000粒ニ對スル得苗率ハ規那臺灣疫病ノ發生ナキモノトセバ完大種子最モ多ク完小種子, 淡色種子及ビ三角形種子ハ之ニ次デ略々等シク赤褐色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ハ極メテ少キヲ推定シ得ベシ。然レドモ本病ノ發生ニヨリ得苗率ハ完大種子, 完小種子ハ等シク最モ大ニシテ三角形種子及ビ淡色種子之ニ次ギ赤褐色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ハ僅ニ其形ヲ止ムルニ過ギズ。

(六) 上述ノ結果ニヨリ發芽ノ齊一ヲ期シ健全ニシテ均一ナル子苗ヲ得ンガ爲ニハ障害種子ハ勿論, 淡色種子, 赤褐色種子及ビ周線不明瞭ナル種子ハ之ヲ除キ完大種子, 完小種子及ビ三角形種子ノミヲ播種スルヲ要スペシ。

## 摘 要

臺灣臺東廳知本臺灣星製藥株式會社規那造林地ヨリ採集セシ種子ヲ次ノ七種ニ分類シ, 其發芽率, 得苗率及ビ生長量ヲ比較セリ。

完大種子

完小種子

淡色種子

三角形種子

赤褐色種子

周線不明瞭種子

## 障礙種子

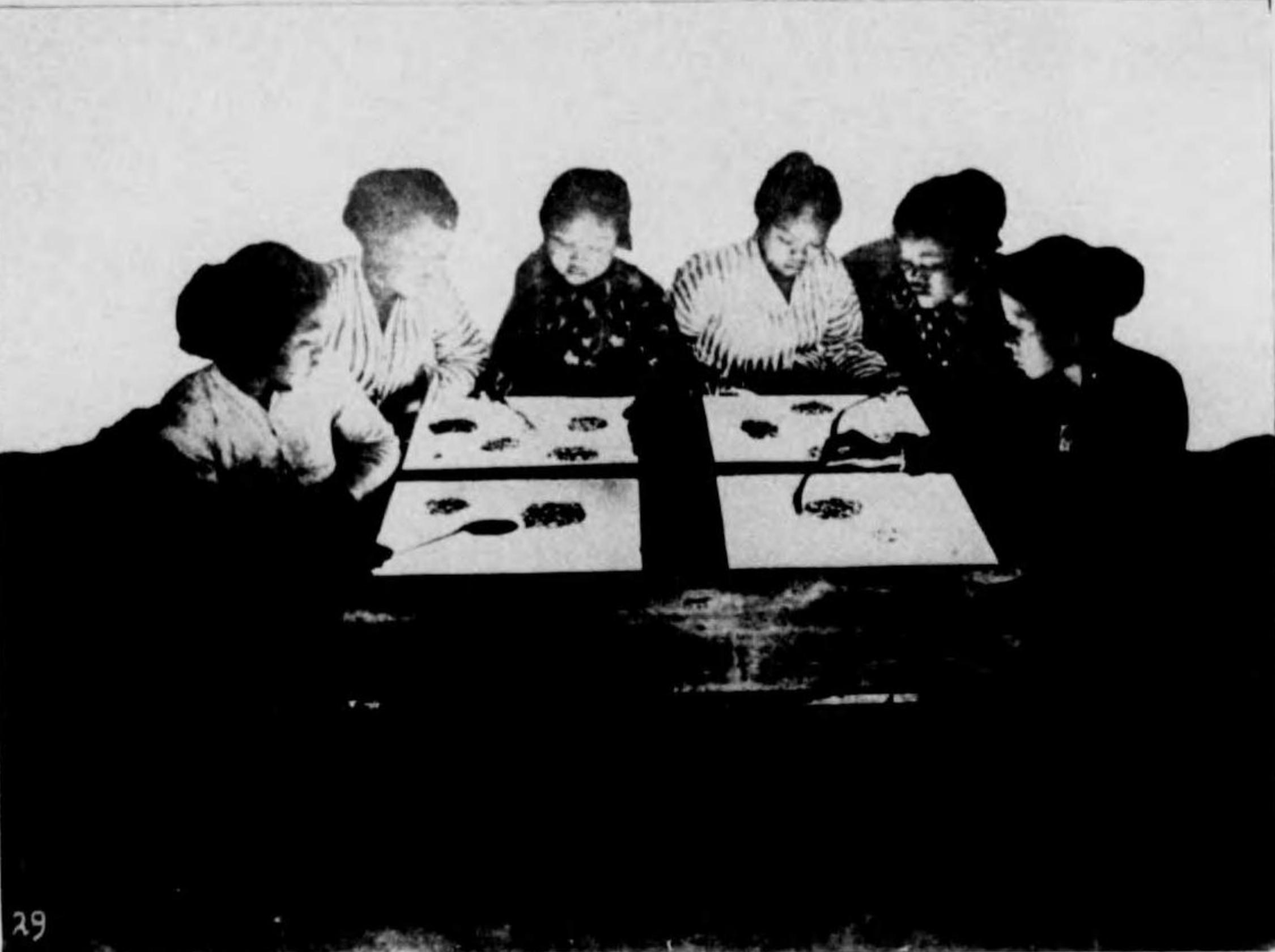
上記七種ノ内完大種子最モ成績良好ニシテ即チ發芽率,得苗率,生長量何レモ  
最大ナリシモ,周線不明瞭種子,障礙種子ハ成績特ニ不良ナリキ。

## 文 獻

- 福永鴻介 深根性苗木ノ幹根部ノ間ニ存スル相關關係ニ就テ(林業試験彙報第十四號)  
 神田正梯 實驗觀察植物學講義  
 神野満治郎 顯微鏡的植物學實驗法  
 見波定治 細胞學實驗法  
 山羽儀兵 日本農林種子學前編及後編  
 近藤萬太郎 金屬鹽類ニヨル種子ノ活力検定ト其應用  
 長谷川孝三 種子及苗圃  
 本多靜六 佛國海岸松種子粒ノ大小及ビ色ガ發芽竝ニ子苗ニ及ボス影響(日本林學會誌第十  
 七卷第一號)  
 松浦作治郎 タイワンアカマツ種子の形質と發芽との關係(臺灣山林會報 第六十九號)  
 松浦作治郎 ニヒタカアカマツ種子の色と發芽との關係(臺灣山林會報 第百十六號)

## 第一圖版 第二圖版

第一圖版



29

第一圖版說明 爪哇ニ於ル種子ノ選別(種子選別用照  
射箱ニヨル) (アル寫真ニ依ル)

第二圖版說明 當試驗地ニ於ル種子ノ選別(種子選別  
用照射箱ニヨル) (原圖)

第二圖版



第三圖版

第三圖版說明 *Cinchoa Ledgeriana* Moens の種子及蒴果(原圖)

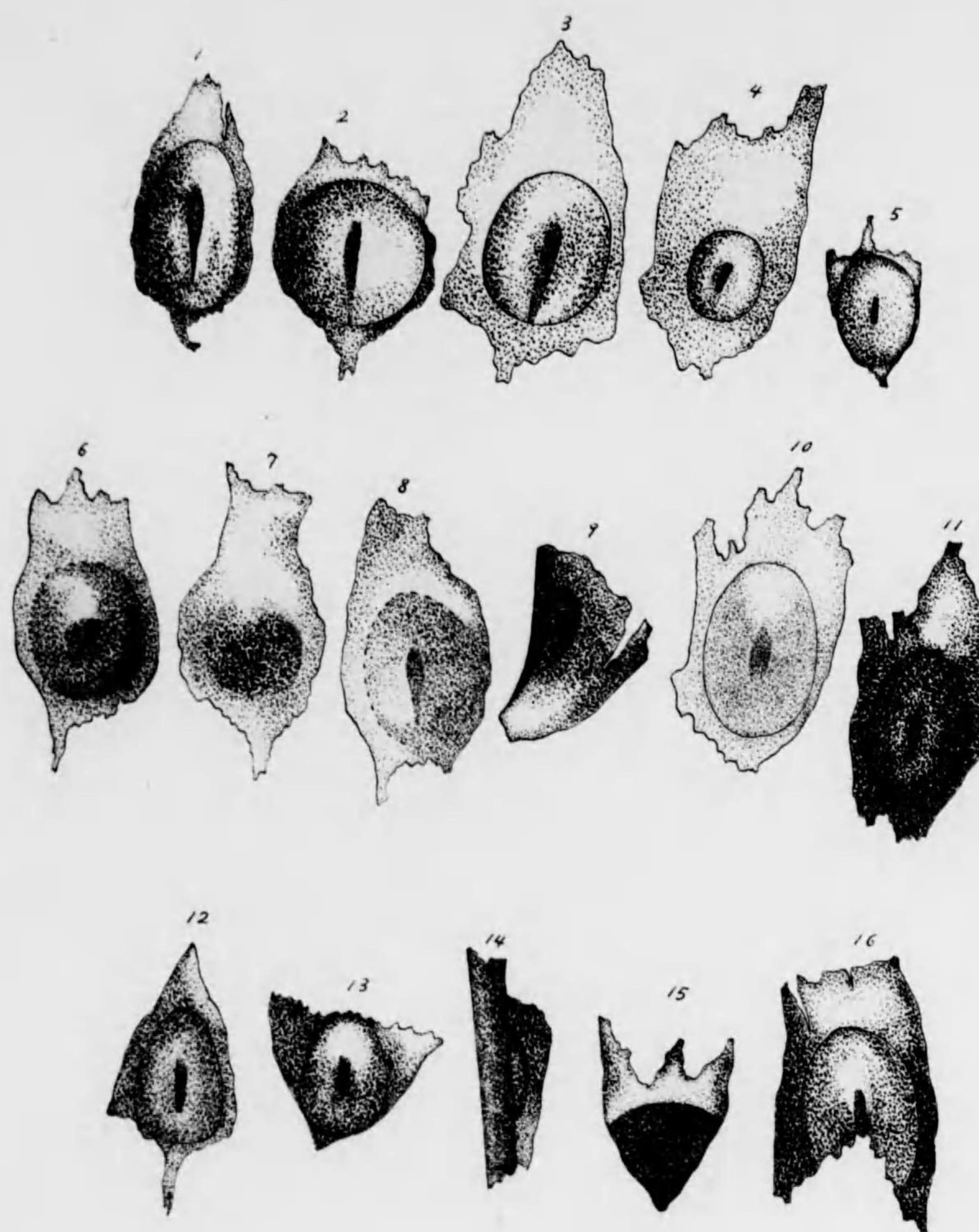
1. 種子(實物大)
2. 蘭果ノ横斷面(擴大)
3. 蘭果ノ縱斷面(擴大)
4. 裂開之蘭果(擴大)



第四圖版

第四圖版說明 形態別ニヨル *C. Ledgeriana* Moens の種子 (原圖)

- 1, 2, 3. 完大種子(擴大)
- 4, 5. 完小種子(擴大)
- 6, 7, 8, 9. 周線不明瞭ナル種子(擴大)
- 10. 淡色種子(擴大)
- 11. 赤褐色種子(擴大)
- 12, 13. 三角形種子(擴大)
- 14, 15, 16. 障碍種子(擴大)



第五圖版

第五圖版說明 形態別 = 三九 C. Ledgeriana Moens の種子 (原圖)

1. 完大種子ノ縦斷面(約五十八倍)

t. 表皮

ed. 胚乳

e. 胚

c. 子葉

2. 完大種子ノ横断面(約五十八倍)

3. 完大種子ノ横断面(約六百二十五倍)

t. 表皮

s. 柔組織

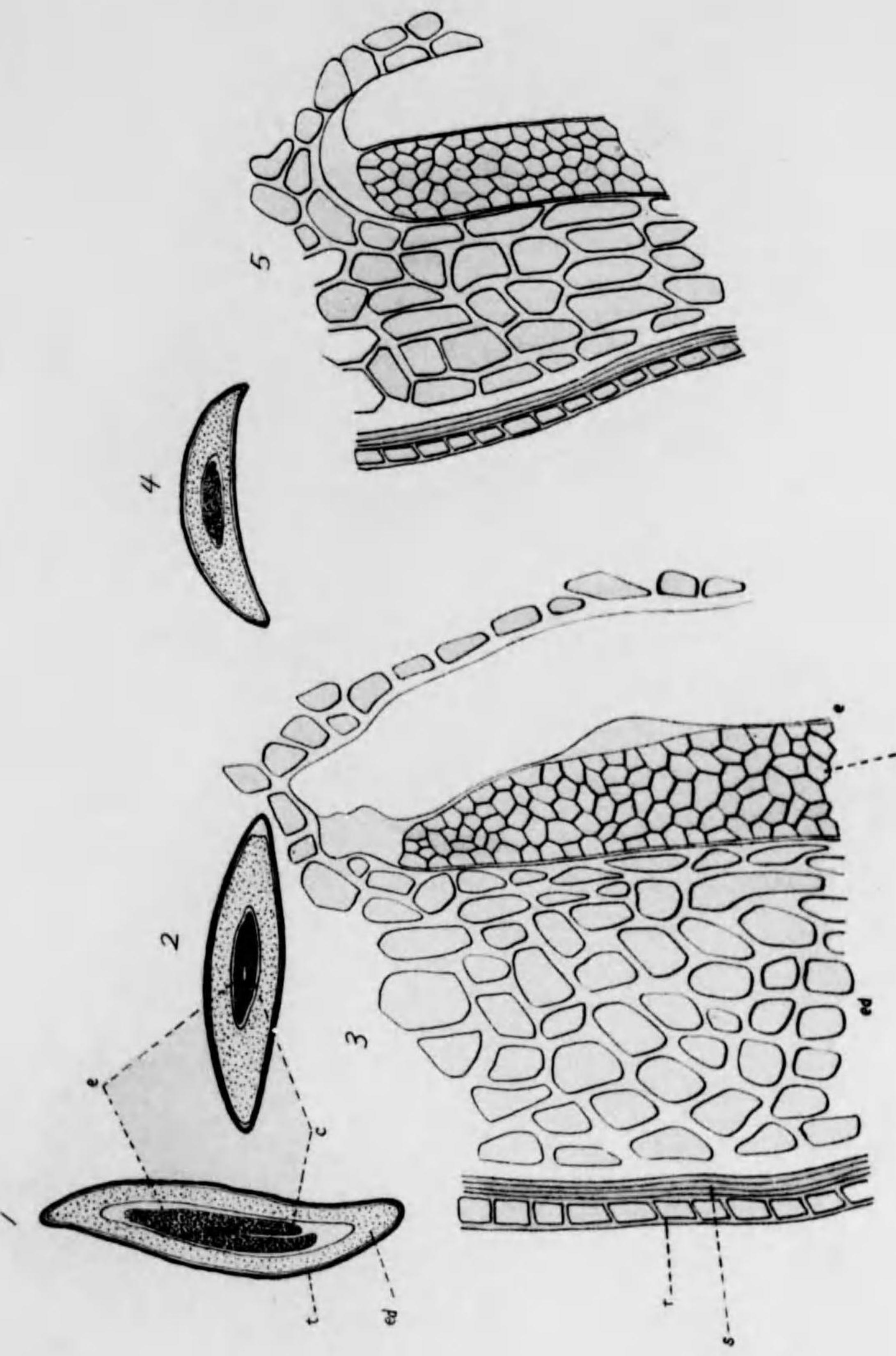
ed. 胚乳

e. 胚

c. 子葉

4. 完小種子ノ横断面(約五十八倍)

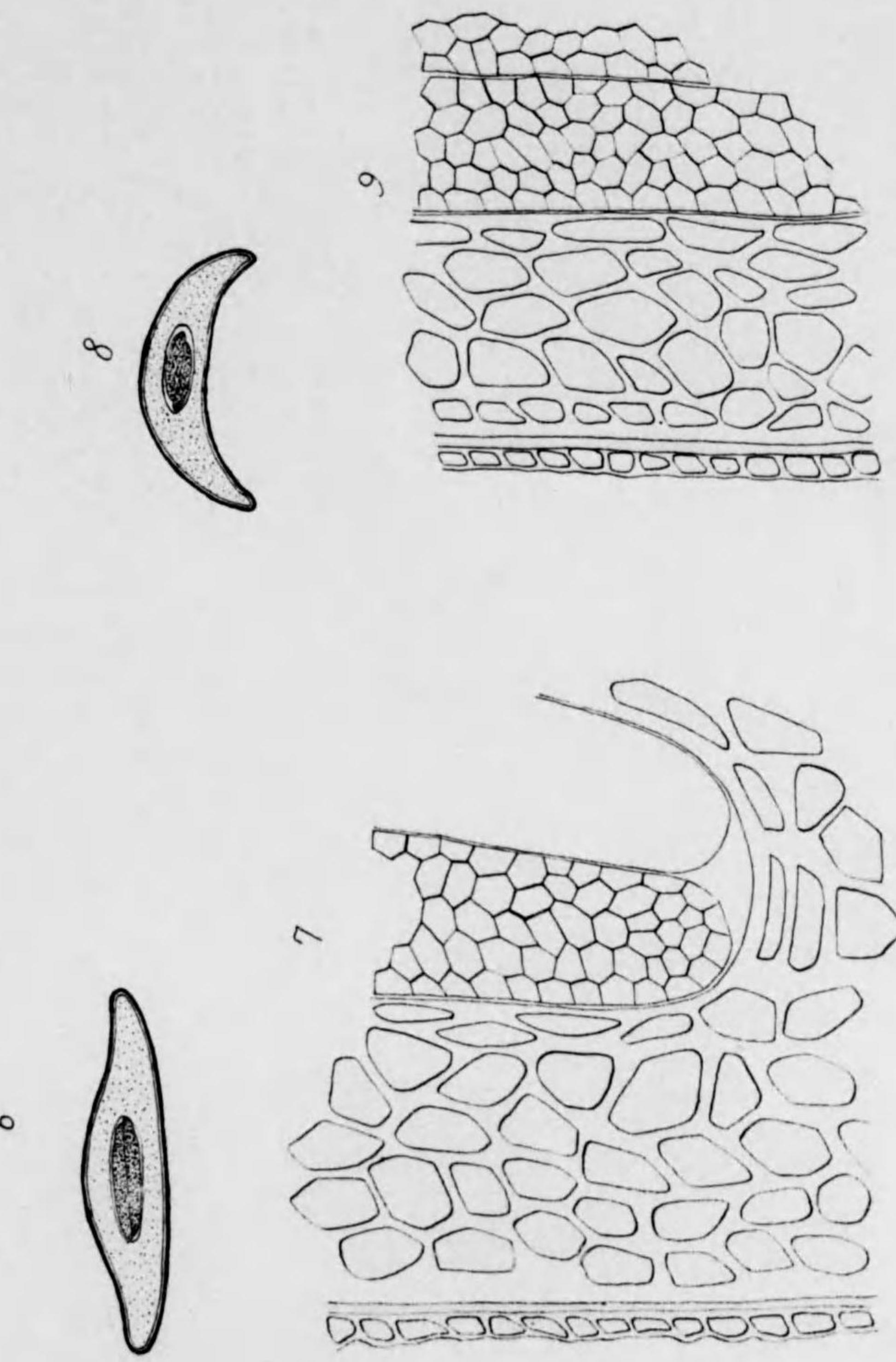
5. 完小種子ノ横断面(約六百二十五倍)



第六圖版

第六圖版說明 形態別 = ヨル C. Ledgeriana Moens の種子 (原圖)

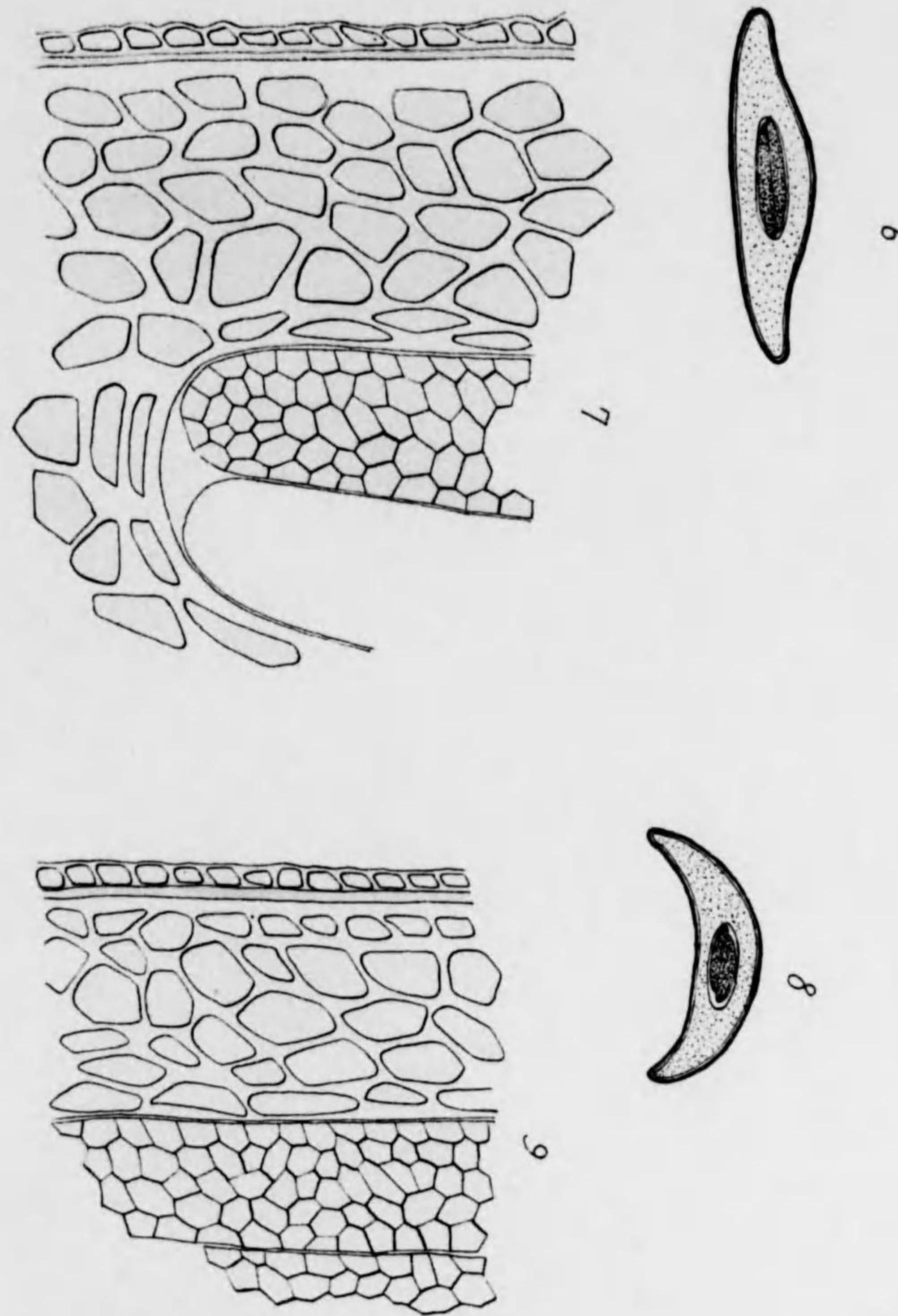
6. 淡色種子ノ横斷面(約五十八倍)
7. 淡色種子ノ横斷面(約六百二十五倍)
8. 三角形種子ノ横断面(約五十八倍)
9. 三角形種子ノ横断面(約六百二十五倍)



第七圖版

第七圖版說明 形態別ニヨル C. Ledgerina Moens の種子 (原圖)

10. 周線不明瞭ナル種子ノ横断面(約五十八倍)
11. 周線不明瞭ナル種子ノ横断面(約六百二十五倍)
12. 周縫不明瞭ナル種子ノ横断面(約六百二十五倍)
13. 赤褐色種子ノ横断面(約五十八倍)
14. 赤褐色種子ノ横断面(約六百二十五倍)



### 第三 規那播種床比較試驗

## 目 次

	頁
緒 言.....	1
一 播種床ノ種類 .....	1
(一) 小屋掛床A .....	1
(二) 小屋掛床B .....	2
(三) 「フレーム」床 .....	2
二 「フレーム」床、小屋掛床 A 比較 .....	2
(一) 播 種 .....	2
(二) 發芽率及得苗率 .....	3
(三) 氣溫ノ比較 .....	4
(四) 生長量 .....	7
(五) 播種床ニ於ケル子苗成立ノ状態 .....	10
三 「フレーム」床、小屋掛床 A 及ビ小屋掛床 B 比較 .....	11
四 播種床面ニ於ケル子苗成立ノ状態及ビ生長量ノ比較 .....	12
五 考察、結論及ビ摘要 .....	13
文 献 .....	15
圖 版 .....	

### 第三 規那播種床比較試験<sup>(1)</sup>

拔 手 飯 塚 駿

#### 緒 言

規那樹苗養成ニ當リ從來本島ニ於テハ播種床トシテ殆ド光線ヲ透過セザル所謂小屋掛式ノモノ用ヒラレタルモ爪哇ニ於テハ[フレーム]等モ播種床トシテ用ヒラル(第一圖版)。勿論發芽時ニ於テハ多量ノ庇陰ヲ要スベキモ、發芽苗ノ生育ニ當リテハ適當ノ光線ヲ要求スベキモノニハ非ザルヤト思考サレ、爰ニ床トシテ小屋掛式ノモノノ外、更ニ農園藝用[フレーム]ヲ設定シ兩者ニ於ケル得苗率並ニ生長量ノ比較ヲナシ播種床ニ於ケル光線照射ノ可否ヲ闡明セントセリ。但シ設備ノ關係上最適ナル庇陰度ノ決定及ビ諸般ノ外的因子ノ計數的測定ハ後日ノ機會ニ譲ルコトトシ今回ハ單ニ播種床ノ比較ヲナスニ止メタリ。

本試験ニ就テ多大ノ指導及ビ助力ヲ與ヘラレタル林業部勤務技師松浦作治郎氏、種子ヲ贈與又ハ分譲セラレタル衛生部勤務技師荒木忠郎氏竝ニライ社星規那造林所各位ニ對シ爰ニ深甚ナル謝意ヲ表ス。

#### 一 播種床ノ種類

##### (一) 小屋掛床A

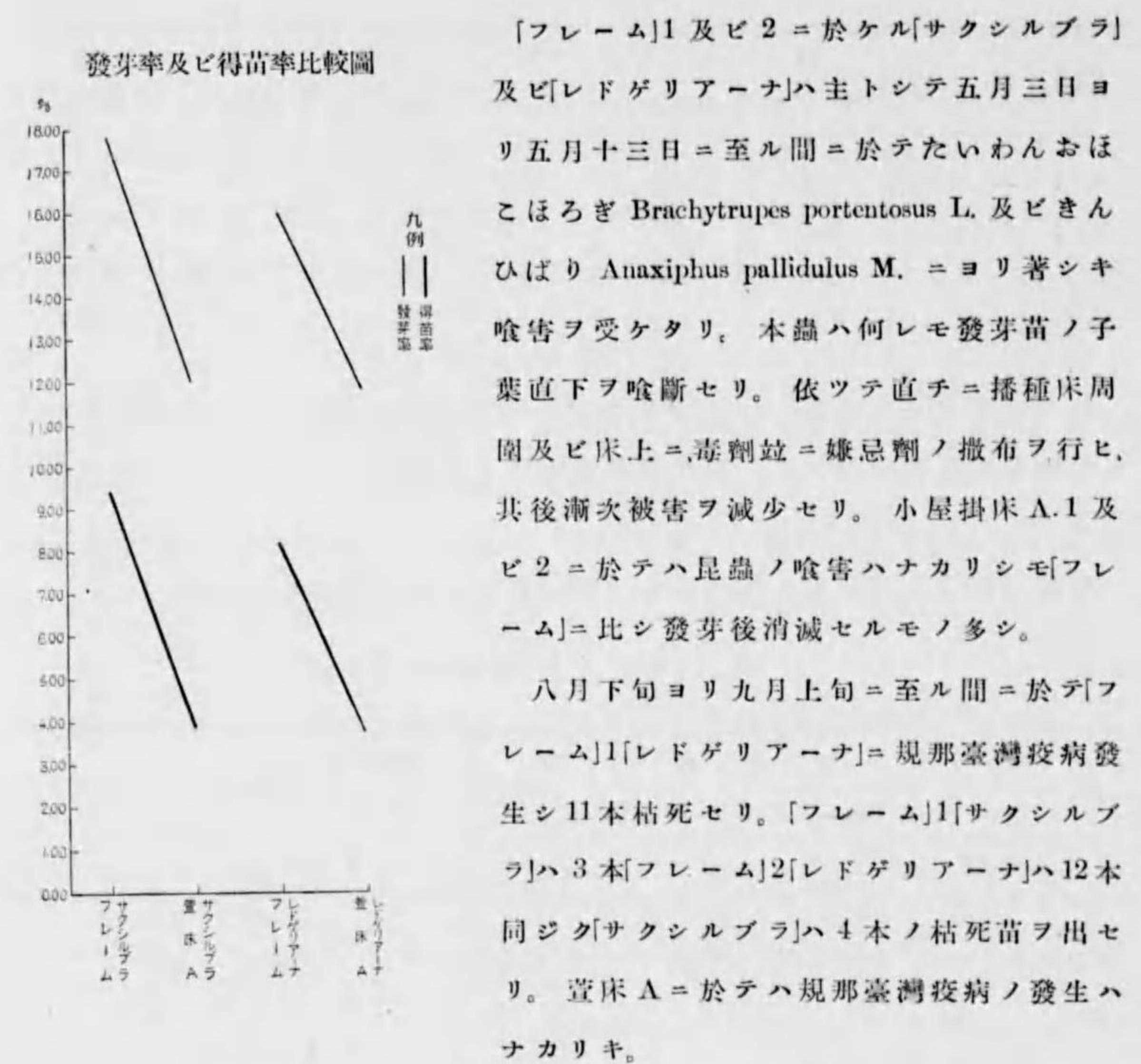
間口2.3m、奥行1.3m、高サ前面1.5m、後面1.0m、トシ内部ニ長サ2.0m、幅1.0m、高サ0.16mノ播種床ヲ設ケタリ。兩側壁及ビ屋根ハ雨水ヲ透過セザル厚サニ葢ヲ葺キタリ。前面ニハ割竹ニテ作レル扉ヲ設ケ後面ハ壁ヲ設ケズ只地上0.3mノ高サニ割竹ヲ以テ垣ヲ設ケタリ(第二圖版、第三圖版)。

本小屋掛床ハ南面シ陽光ノ射入ハ概ネ午前九時ヨリ正午迄ニシテ竹扉間隙ヲ通過射入スル光線ハ僅カニ播種床前方4—15cmヲ照射スルニ過ギズ。又照射部ニ於テモ、竹扉ノ光線透過度ハ $\frac{1}{8.3}$ ナレバ直射光線ハ其全量ノ $\frac{1}{8.3}$ ヲ越ヘズ。但シ播種後發芽完了ニ至ル期間ハ防水布ニテ光線ノ射入ヲ遮断セリ。午後ハ陽光ノ射入ナク僅カニ午後四時以後ニ於テ播種床後方斜ニ弱キ陽光ノ射入ス

(1) 臺灣總督府中央研究所林業部第一殖育試驗室業績 第七



## 二「フレーム」床、小屋掛床A比較



## (三) 氣溫ノ比較

四月及び五月中の〔フレーム〕内ノ氣溫ハ測定シ得ザリシヲ以テ六月以降九月十日迄〔フレーム〕及ビ萱床A内ニ於ケル氣溫ヲ比較セバ次表ノ如シ。測器ハ自記溫度計ヲ用ヒ小屋掛床内ノ測器ノ高サハ0.88m〔フレーム〕床内ノ夫レハ0.40mナリ。

## 二「フレーム」床、小屋掛床A比較

日	フレーム			萱床A		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
1	25.4	18.4	21.1	23.5	19.0	21.0
2	29.0	18.3	21.9	27.0	19.0	22.2
3	31.0	19.0	22.9	30.5	20.0	23.1
4	31.0	19.4	23.0	27.5	19.5	22.3
5	20.9	18.9	19.7	20.5	19.0	19.4
6	26.6	18.2	23.7	21.0	18.5	19.7
7	26.4	18.6	20.4	21.5	18.5	19.1
8	35.6	18.4	22.8	24.5	18.5	20.1
9	22.0	18.4	20.1	21.0	18.5	19.7
10	23.6	17.5	19.6	22.5	18.0	19.6
11	27.8	17.8	21.5	24.0	18.0	20.5
12	30.5	18.2	23.3	25.5	18.5	21.3
13	32.9	18.3	23.7	26.5	18.5	22.0
14	34.4	18.0	23.8	27.5	18.5	22.8
15	35.0	17.8	24.3	28.5	18.0	22.0
16	35.0	19.6	25.4	28.5	19.0	22.9
17	35.6	19.0	25.3	28.5	19.0	23.1
18	34.4	18.6	24.6	28.5	18.5	22.8
19	33.1	16.5	23.5	27.5	17.0	23.3
20	36.0	16.4	24.6	30.0	17.0	23.0
21	36.3	17.2	24.7	30.0	17.5	22.0
22	33.1	24.4	23.5	26.5	19.5	21.3
23	32.3	17.8	22.2	26.5	18.0	21.0
24	26.7	17.5	20.0	23.5	17.5	19.0
25	30.5	17.9	21.1	25.0	18.0	19.7
26	29.5	17.8	21.7	24.5	17.5	20.4
27	27.0	17.9	20.9	24.5	18.0	20.4
28	27.6	18.3	21.8	25.0	18.5	21.2
29	26.0	18.4	22.0	24.0	18.0	21.0
30	27.7	18.8	22.3	24.5	19.0	21.3
極 値	36.3	16.4	22.5	30.5	17.0	21.5

日	フレーム			萱床A		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
1	31.4	19.4	23.1	25.9	19.2	21.9
2	33.0	18.7	23.8	27.8	18.8	22.0
3	29.4	18.0	22.1	25.5	19.9	21.0
4	23.8	18.7	20.8	23.0	18.3	20.2
5	32.6	17.9	23.2	27.6	17.8	21.5
6	35.8	19.8	25.2	28.5	19.5	22.2
7	27.2	19.3	22.6	23.5	18.6	20.9
8	32.7	19.0	23.4	26.4	18.5	21.7
9	33.7	19.3	24.2	27.2	19.3	21.4
10	36.1	18.8	25.3	29.5	19.0	23.7
11	33.9	19.0	24.6	28.3	20.8	23.5
12	33.2	18.9	25.2	29.0	21.8	24.1
13	36.0	20.0	25.5	30.1	21.0	24.6
14	35.1	17.7	24.5	29.0	19.6	23.3
15	36.0	16.9	23.5	29.3	20.0	22.8







比シ著シク其度ヲ増セリ。風ハ時ニ弱キ西南風ノ僅カニ吹入スルアルノミニシテ床面ハ極メテ温潤ニシテ僅少ノ綠苔ヲ生ジ隣接區ニ於テハモボ病發生セリ。

成苗率ハフレーム最モ大ニシテ萱床Bハ稍々劣リ萱床Aハ極メテ不良ナリ。

昭和十一年十一月十六日生長量調査ノ結果次表ノ如シ。但シ苗ノ大イサ極メテ小ナルヲ以テ重量ノ測定ノミニ止メタリ。

播種床	南側		北側		平均		地上部ト根部ノ重量比(%)
	地上部重量gr	根部重量gr	地上部重量gr	根部重量gr	地上部重量gr	根部重量gr	
フレーム	0.354	0.026	0.350	0.024	0.352	0.025	7.10
萱床A	0.040	0.005	0.120	0.007	0.080	0.006	7.50
萱床B	0.180	0.008	0.090	0.006	0.135	0.007	5.19

各々10本ノ平均約トレリ。

即チフレームニ於テハ南北兩側ニ於ケル生長量略々等シ萱床Aニ於テハ北側ハ南側ヨリ地上部重量ニ於テハ約3倍根部重量ニ於テハ約1.4倍ノ生長ヲナセリ。之ニ反シ萱床Bニ於テハ南側ハ北側ヨリ地上部重量ニ於テハ約2倍根部重量ニ於テハ約1.3倍ノ生長ヲナセリ。

三者ヲ比較スルハ「フレーム最モ生長量大ニシテ地上部重量ニ於テハ萱床Aノ約4.4倍萱床Bノ約2.6倍根部重量ニ於テハ萱床Aノ約4.2倍萱床Bノ約3.6倍ノ生長ヲナセリ。即チ乾燥ニ過グルヨリ寧ロ過濕ナル方生長量大ニシテ適度ノ射入光線ニヨリ著シク其生長量ヲ増大スルヲ知ルヲ得ベシ。

地上部重量ト根部重量ノ比ハ萱床B最モ小ニシテ萱床Aハ苗ノ大イサ小ナルニ拘ハラズ略々「フレーム」ニ等シ。即チ「フレーム」ニ於テ子苗ハ最モ均等ナル生育ヲナシ陰暗多濕ナル萱床Bニ於テハ子苗ハ根部ニ比シ地上部ハ徒長シ纖弱ナリ。

#### 四 播種床面ニ於ケル子苗成立ノ状態 及ビ生長量ノ比較(他ノ一例)

昭和十一年三月十日ライ社産レドゲリアーナ種子ヲ萱床A = 1m<sup>2</sup>, 2.5gr南北側各1.25gr 完ト播種セリ。之ヲ昭和十一年九月十一日調査セルモノ次表ノ如シ。

區別		地上部長cm	地上部重量gr	根長cm	根部重量gr	本數
北側	1	12.3	1.67	10.0	0.10	126
	2	6.7	2.51	10.8	0.20	63
	3	5.3	1.37	7.2	0.08	270
	4	3.4	0.57	10.7	0.04	262
	5	1.3	0.09	8.0	0.02	205
	平均	4.9	0.98	9.0	0.07	926
南側	1	2.7	0.32	6.2	0.04	36
	2	2.4	0.19	4.5	0.02	27
	3	1.5	0.10	4.6	0.02	27
	4	1.3	0.12	4.0	0.01	63
	5	0.5	0.09	6.5	0.02	63
	平均	1.5	0.15	5.2	0.02	216

#### 本數ハ合計ヲ示ス

即チ地上部ハ長サハ南側ハ北側ノ30.61%重量ハ15.31%ニシテ根部ハ長サハ南側ハ北側ノ57.78%重量ハ28.59%地上部重量ニ對スル根部重量ノ比ハ北側ハ1.43%南側ハ1.33%ナリ。之ヲ要スルニ北側ハ南側ヨリ著シク大ナル生長量ヲ有シ根部ノ發育モ亦良好ナリ。

又北側ハ南側ニ比シ約4.3倍ノ成立苗數ヲ有セリ。

#### 五 考察、結論及ビ摘要

(一) 成立苗ノ寄生セル關係上「フレーム」床ハ小屋掛床Aニ比シ地上部ノ肥大生長及ビ根系ノ發達ハ比較的少シ。然レドモ一般ニ得苗率及ビ生重量ノ上ヨリ「フレーム」床ハ遙カニ小屋掛床Aヲ凌駕セリ。

(二) 「フレーム」床及ビ小屋掛床Aニ於テ氣溫ノ較差ハ前者ハ著シク大ニシテ後者ハ小ナリ、平約氣溫ハ兩者共ニ大差ナク前者僅ニ大ナリ。萱床Aニ於テハ風ノ影響ニヨル地表面ヨリノ蒸發量大ニシテ、之ニヨリ低下セシメラル地中溫度ハ比較的大ナルモノアルベシ。即チ後者ニ於テハ氣溫ト共ニ地中溫度モ亦著シク低減セラルヲ以テ從ツテ兩者ニ於ケル著シキ生長ノ差ハ、兩者ノ光射攝取量ノ差ニヨル外溫度ノ大小ニヨリ影響セシメラルモノナルガ如シ。

而シテ茲ニ風ノ影響ヲ除ケバ溫度ノ大小ハ主トシテ光線射入量ニ比例スペキモノナリ。即チ殆ド光線ノ射入ナキ小屋掛床 A = 於テハ生長量極メテ小ニシテ時ニ全面ヲ硝子戸ヲ通ジテ直射光線ニ露出シ概ネ簾ヲ透過セル光線ヲ受クル[フレーム]床ニ於テハ生長量極メテ大ナリ。又小屋掛床 A = 於テ弱キ夕陽ノ射入スル部分ハ他部ニ比シ生長量大ナリ。小屋掛床 B = 於テハ直射光線ハ全ク射入セズ僅カニ南側ニ於テ直射光線ノ影響ヲ受クルノミナルモ陰暗ナル北側ニ於テハ成立苗少ク生長量少ナリ。

之ヲ要スルニ播種後發芽完了ニ至ル間ハ光線ノ射入ハ極メテ少ナカラシムルヲ要スペキモ其後ニ於テハ全ク光線ノ射入ナカラシムル如クナスハ得苗率及ビ生長量ノ上ヨリ不適當ナル如ク常ニ適度ノ光線ヲ攝取シ得ル如クナスヲ要スルガ如シ。

(三) 小屋掛床 A = 於テハ 1.2. 共ニ全床面同様ニ灌水セルニ拘ラズ第七圖ニ示セルガ如ク西側及ビ南側ハ著シク乾燥シ成立苗極メテ少ナク北側及ビ東側ニ至ルニ從ヒ增加セリ。西側及ビ南側ノ乾燥ハ主トシテ西南風ノ吹キ入レニ基因シ午前中ノ陽光ノ射入モ亦之ガ因タルベシ。然レドモ常ニ陽光ノ射入セル[フレーム]床ニ於テハスノ如キ播種床面ノ乾燥ヲ來サズ從ツテ之ガ主因ハ西南風ノ吹キ入レニアリト云フベシ。機械的ニ種苗ノ根ヲ動カシ生育ヲ阻害スルモ風ノ一影響ナルベキモ其吹キ入レニヨリ床面ヲ過乾ナラシムルコト最モ著シキ影響ナルベシ。

即チ得苗率及ビ生長量ノ上ヨリ床面ハ常ニ適度ノ水濕ヲ保有スルヲ要スペク強キ風ノ吹キ入レヲ遮断セザルベカラザルガ如シ。

(四) 播種床ガ陰暗温潤ニ過グル場合之ニヨリ得タル子苗ハ根部ノ發達少ナク纖弱ナリ。

(五) 小屋掛床 A = 於テハ病害ノ發生ナク小屋掛床 B = 於テハ隣接區ニ於テ「モボ病」發生セリ。小屋掛床 Bハ前述ノ如ク床内部ハ陰暗換氣不十分ニシテ床面ハ常ニ温潤ナリ。即チ「モボ病」豫防上播種床ハ充分ニ換氣サルルヲ要シ床面ハ過温ナラザルヲ要ス。「フレーム」床ニ於テハ八月下旬及ビ九月上旬規那臺灣疫病發生セリ。「フレーム」内ハ氣温高ク床面亦本病ノ發生ニ適合セル水濕ヲ保有セルニヨルモノナルベシ。

## 文 献

石川 靜一 杉、赤松子苗ノ發生、消失及ビ生長ト之ニ及ボス環境主トシテ氣象因子(日本林學會誌)

平田 德太郎 蒸發ト風速ノ關係(日本林學會誌第九卷第十號)

澤田 兼吉 臺灣ニ發生スル規那疫病ニ就テ(臺灣農事報第三十二年第五號)

金平亮三 爪哇ニ於ル規那栽培法

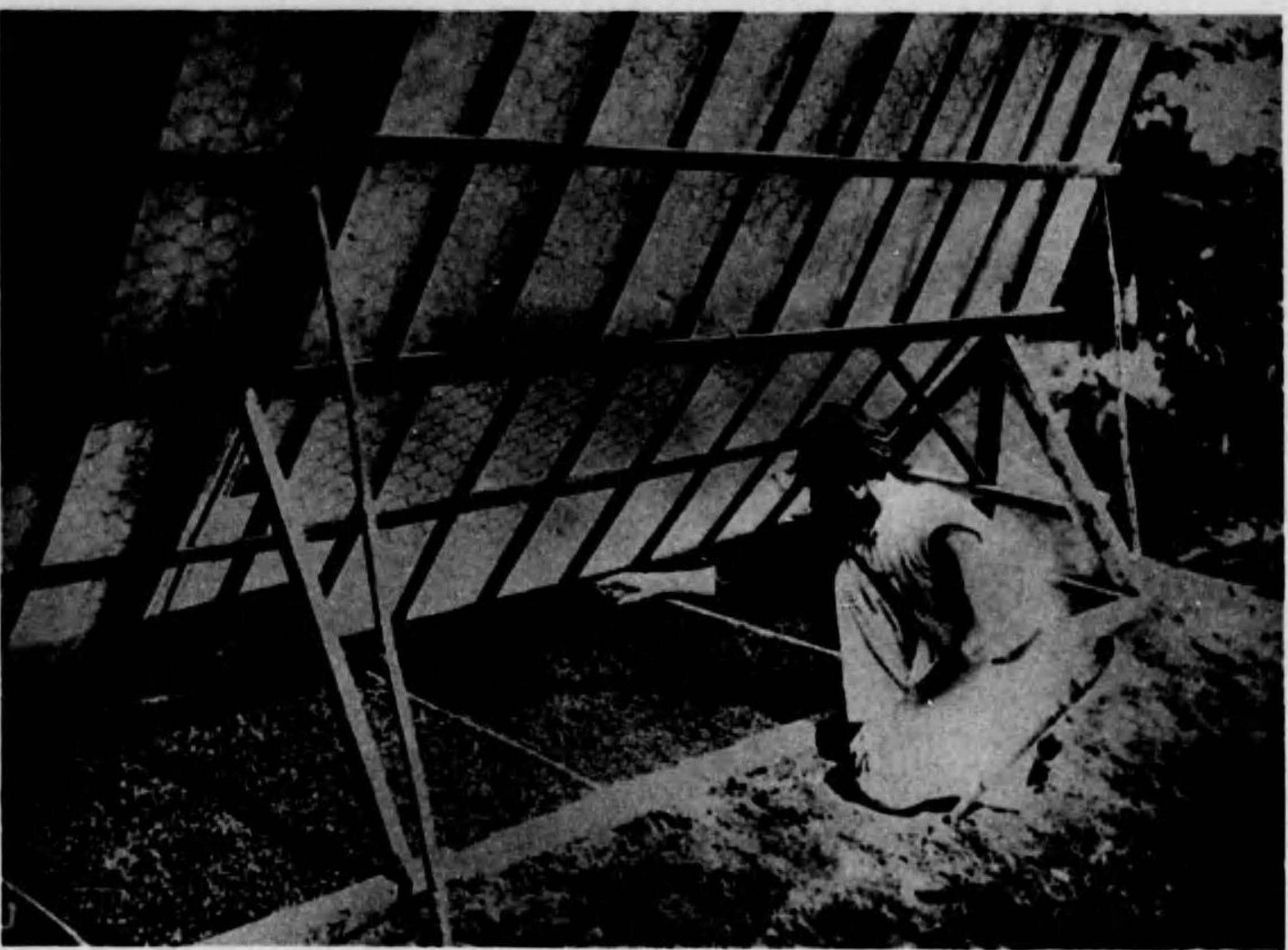
蘭領東印度ニ於ル規那栽培(官房調查課、南支那及ビ南洋調查第六十九輯)

A. Groothoff. De Kinacultuur.

Rudolf Geiger. Mikroklima und Pflanzenklima.

第一圖版 第二圖版

第一圖版



第一圖版說明 爪哇ニ於ケル播種床 (アル寫眞ニ依ル)

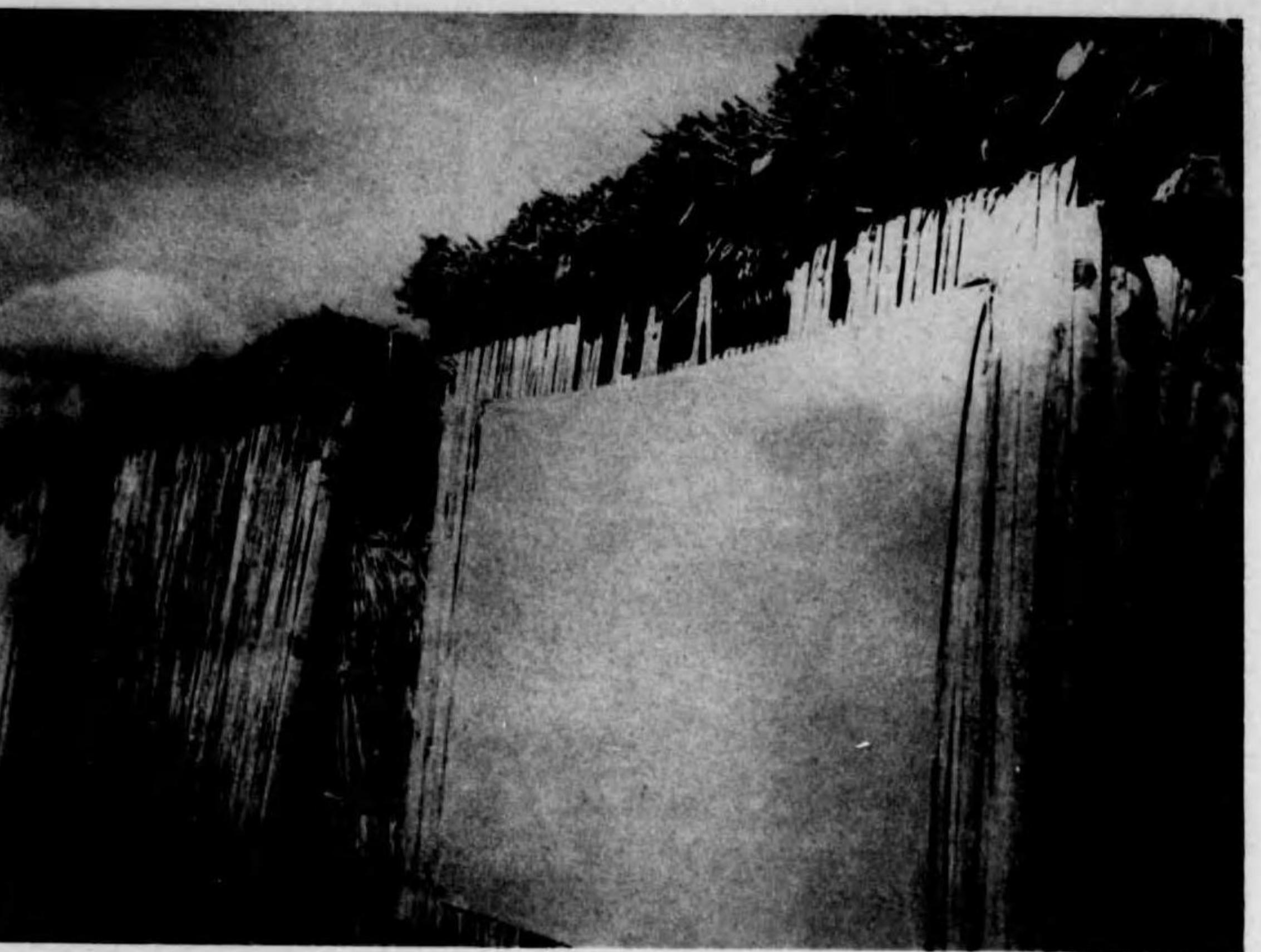
第二圖版說明 小屋掛床 A (原圖)

第二圖版



第三圖版 第四圖版

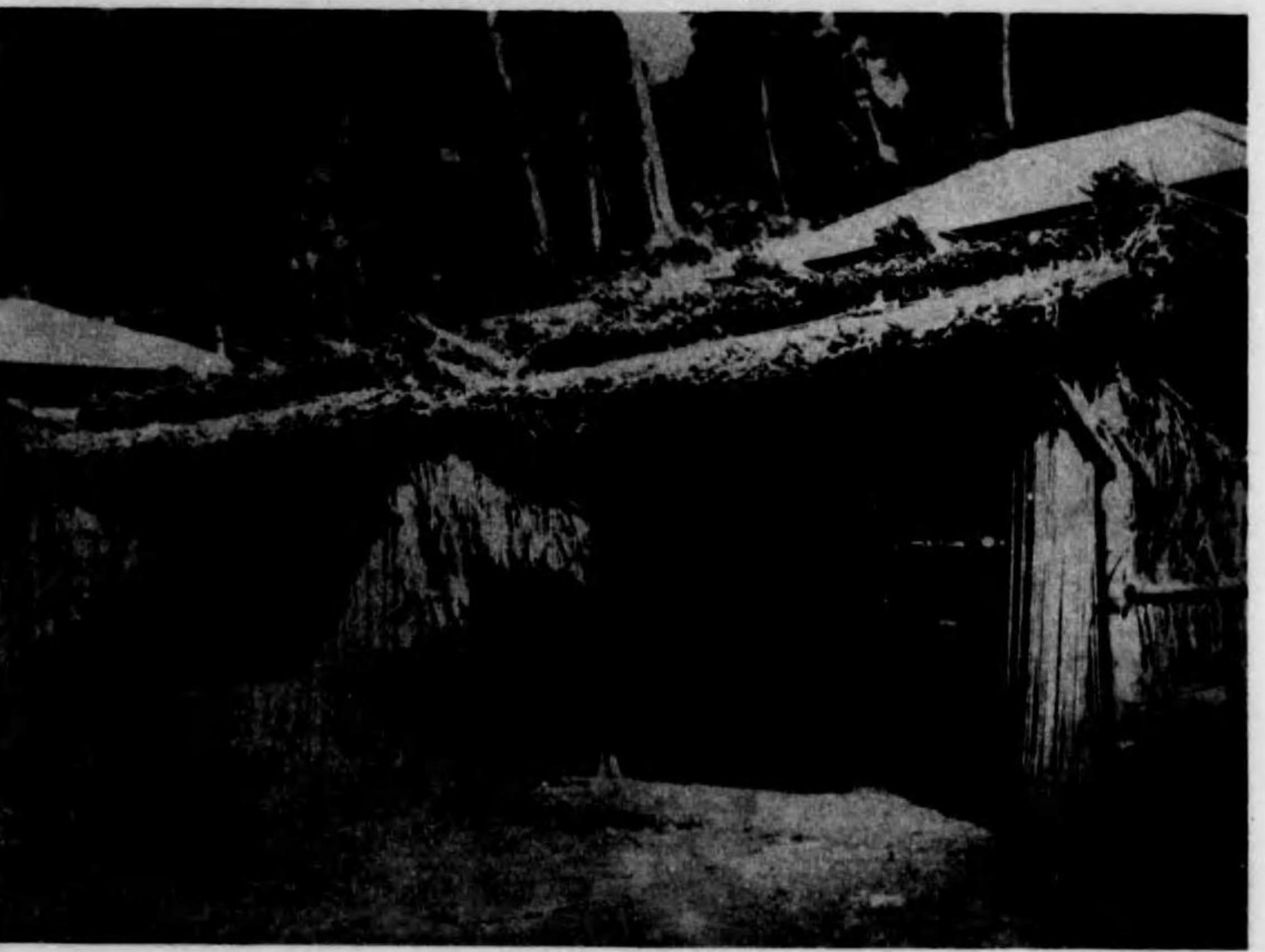
第三圖版



第三圖版說明 小屋掛床 A (原圖)

第四圖版說明 小屋掛床 B (原圖)

第四圖版



第五圖版 第六圖版

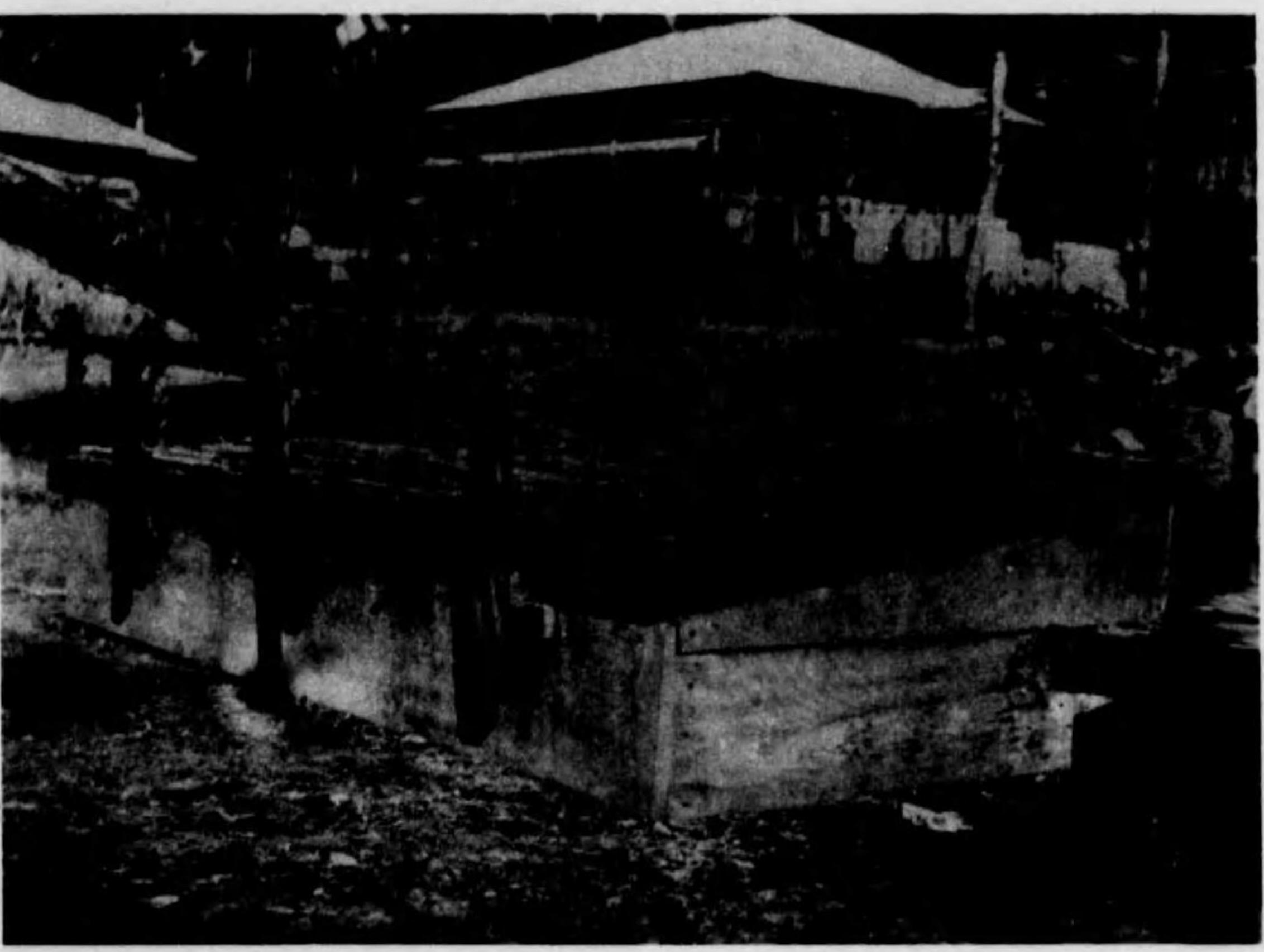
第五圖版



第五圖版說明 「フレーム」床 (原圖)

第六圖版說明 同 上 (原圖)

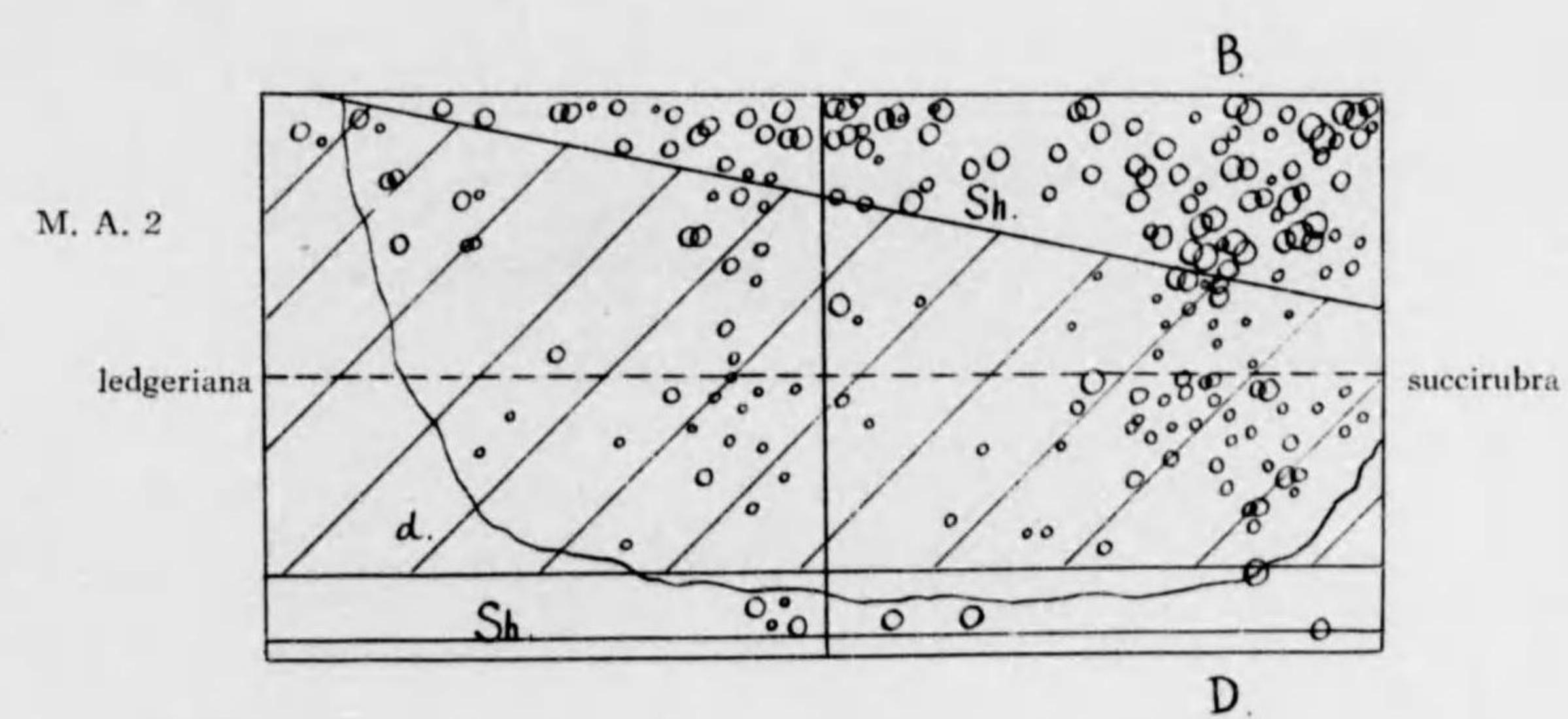
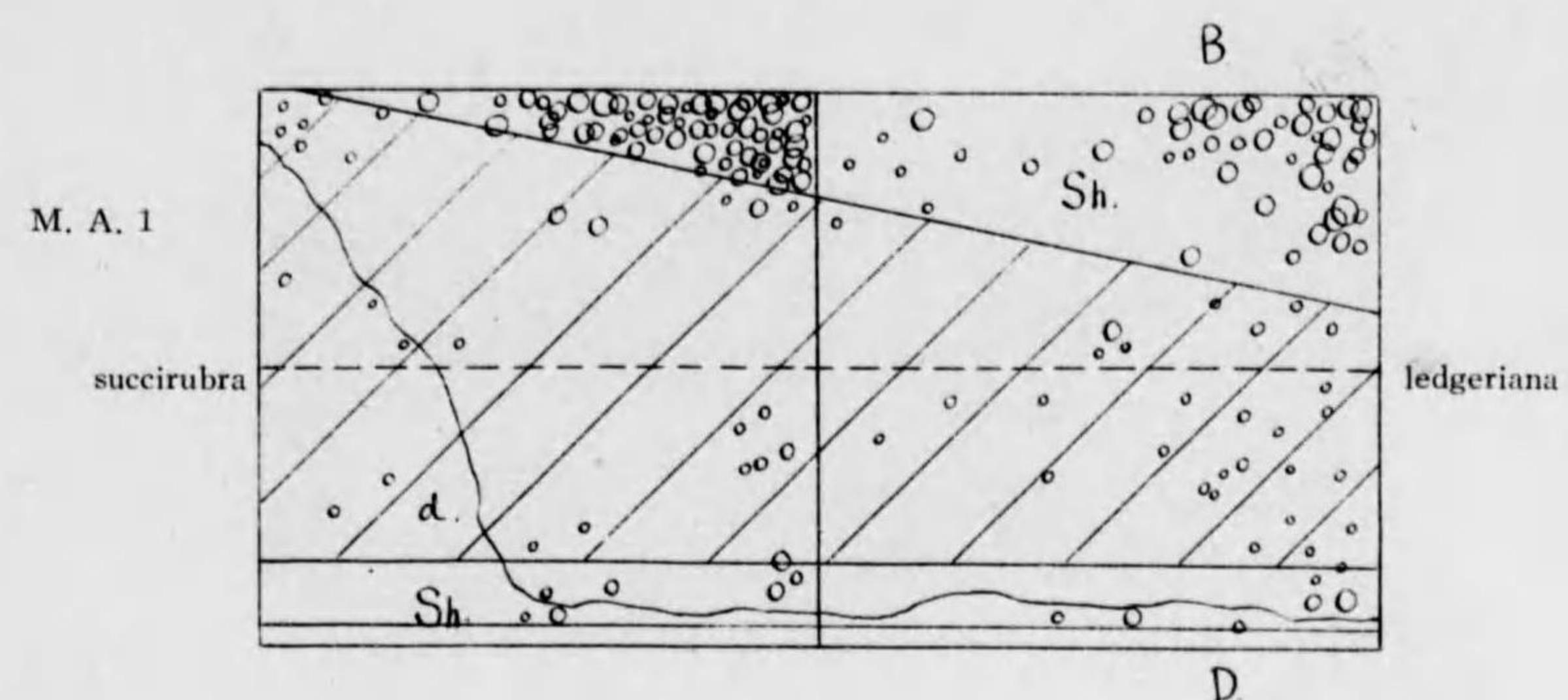
第六圖版



第七圖版

第七圖版說明 播種床 = 於ル子苗成立ノ状態 (原圖)

- M. A. 小屋掛床 A
- D. 前 面
- B. 後 側
- W. 平均風向
- Sh. 光線照射部
- d. 周邊乾燥部



第八圖版

第八圖版說明 播種床ニ於ケル子苗成立ノ狀態 (原圖)

M. A. 小屋掛式蒼床 A

M. B. 小屋掛式蒼床 B

F. [フレーム]床

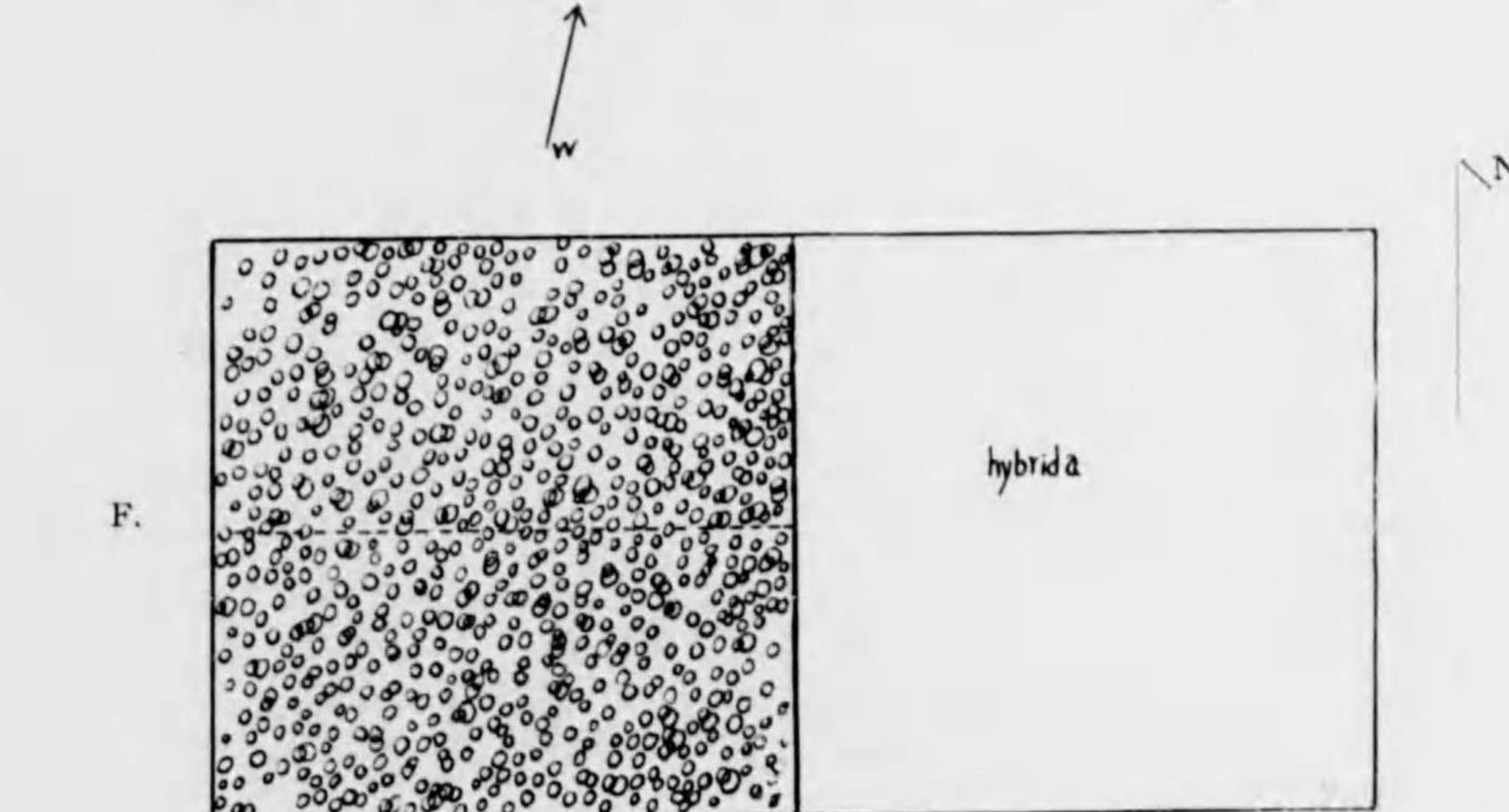
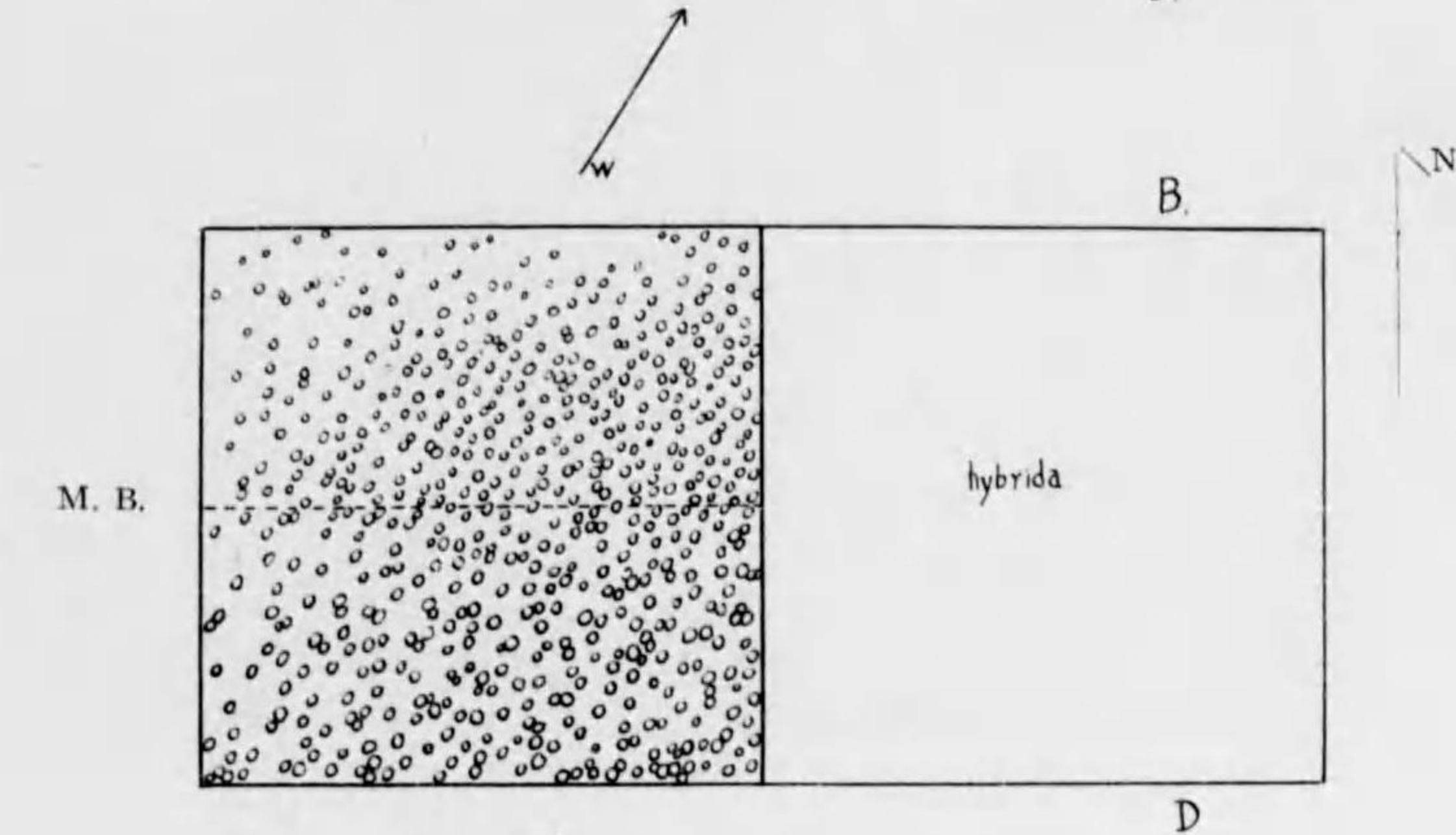
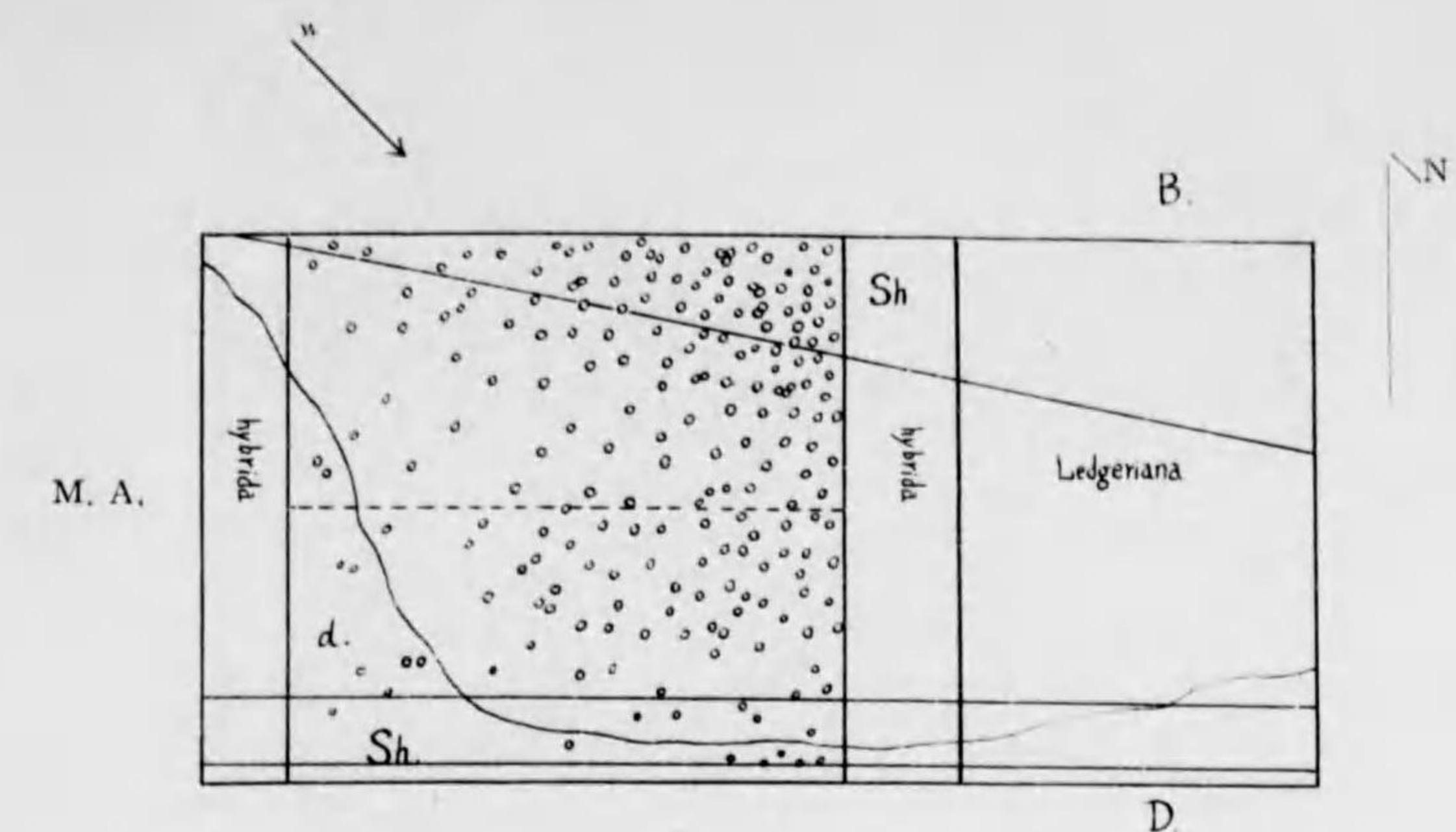
D. 前面

B. 後側

W. 風向

Sh. 光線照射部

d. 周邊乾燥部



臺灣總督府中央研究所林業部出版目錄

臺灣總督府中央研究所林業部報告

- 第1號 新高山彙森林植物帶論 (大正十一年)  
第2號 比律賓產木材ノ解剖的識別ニ關スル研究(英文) (大正十三年)  
第3號 級櫟鐵刀木及ビシツソ樹ノ苗木養成ニ關スル試驗  
熱帶綠肥植物栽培試驗  
嘉義生毛樹及幼葉林產大點雨杉ト福州杉トノ強弱比較試驗  
麻絲精紡用ウードローラー用材適否試驗  
臺灣產(移植)木麻黃屬數種ノ燃力及同木炭ノ熱量比較試驗  
第4號 大日本產重要木材ノ解剖學的識別 (大正十五年)  
第5號 臺灣ニ於ケル木竹材ノ利用(本島人ノ部) (昭和二年)  
第6號 檉種子ノ貯藏ニ關スル試驗 (昭和三年)  
安南漆栽培試驗(第一回報告)  
臺灣產主要木材ノ耐朽性比較試驗(第一回報告)  
臺灣產軌條枕木ノスパイキ及ビ主要工藝用材ノスチールワイヤー・  
ネイル保持力試驗  
第7號 林木種子ニ關スル試驗報告 (昭和四年)  
第8號 檉ニ關スル試驗報告 (昭和四年)  
臺灣產主要木材ノ強弱試驗報告(第三回報告)  
たいわんぐるみノ强度及硬度試驗報告  
臺灣產軌條枕木ノスパイキ保持力試驗(第二回報告)  
附  
其一 臺灣產重要木材ノ強弱試驗一覽表(第1~3回)  
其二 同 上(小供試材試驗ニ就テ得タルモノ)  
附錄  
たいわんくろもじノ小楊枝用材適否試驗報告  
第9號 林業部臘葉館目錄(和洋兩文) (昭和五年)  
第10號 林木種子ノ產地ガ種子ノ形態發芽並苗木ノ生長ニ及ボス影響  
チランチン及ビウスブルンノ林木種子ノ發芽促進ニ及ボス試驗  
(昭和六年)  
臺灣各地ニ移植セル内地杉ノ材質比較試驗成績報告(第一回報告)  
新竹州北埔庄產油杉及無油杉ノ材質及其生長量ノ比較試驗成績  
蒲生杉ノ材質試驗成績  
中華民國浙江省溫州杉ノ材質試驗成績

## 臺灣產軌條枕木ノスパイキ保持力試験成績(第三回報告)

- 第11號 安南漆栽培試験(第二回報告) (昭和六年)
- 第12號 臺灣種樟ト内地產樟トノ比較試験 (昭和七年)
- 容器ノ大小ト種子ノ容重並ニ粒數トノ關係試験  
さうしじゆ(想思樹)種子ノ發芽促進試験  
香杉(らんだいすき)及ビ亞杉(たいわんすき)ノ母樹樹齡ノ老幼ト種子  
ノ形態及ビ發芽力トノ關係試験
- ユーカリブタス・シトリオドラニ關スル試験
- ユーカリ屬六種アゴニス屬一種及ビアカシア屬三種ノ苗木養成及  
ビ播種造林試験
- 第13號 外國產松ノ殖育ニ關スル試験 (昭和八年)
- 大風子樹ノ殖育試験(豫報)
- 第14號 臺灣ニ於ケル外國產蘭科植物目錄 (昭和八年)
- 第15號 樟種子ノ發芽促進試験 (昭和九年)
- 大王椰子及ビユスラヤシ種子ノ發芽促進試験
- 第16號 想思樹ノ主幹及側枝ノ分岐角ト其ノ太さトノ關係ニ就テ (昭和九年)
- 第17號 林業部植物目錄 (昭和九年)
- 第18號 安南漆栽培試験(第三回報告) (昭和九年)
- 第19號 架空索道運搬途中曲線路通過ノ至難ナル主要原因ノ研究並實際的  
通過方法ノ新考案ニ就テ (昭和十一年)
- 第20號

## 臺灣總督府中央研究所林業部彙報

- 第1號 バイワン蕃族利用植物 (大正十二年)
- 第2號 數種ノ藥用植物ニ關スル收量試験 (大正十二年)
- イランイラン樹ニ關スル試験  
内地產樟ト臺灣產樟ノ生長比較ニ關スル試験  
チーク苗木仕立方法ニ關スル試験
- 第3號 木麻黃ノ造林試験 (大正十三年)
- 第4號 英領印度產材ノ解剖的性質ノ研究(英文) (大正十三年)
- 第5號 臺灣ニ於ケル主要松類ノ松脂採取試験成績 (昭和十年)
- 第6號 タロコ峽沿岸植物目錄(第一報) (昭和十一年)
- 第7號 規那造林ニ關スル試験(第一回報告) (昭和十二年)

## 臺灣總督府中央研究所林業部特別報告

- 第1號 增補改版臺灣樹木誌 (昭和十一年)

昭和十二年三月廿八日印刷  
昭和十二年三月三十日發行

## 臺灣總督府中央研究所

印刷人 中村誠道  
臺北市榮町一丁目二十八番地

印刷所 合名會社 松浦屋印刷部  
臺北市榮町一丁目二十七番地

## 規那造林ニ關スル研究 第一回報告

## 正誤表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
第一 規那挿木試験							
9	6	生活力アルモノハ、	生活力アルモノハ、	12	終ヨリ9	挿付ケタルモノヲ、	挿付ケタルモノヲ、
9	終ヨリ2	不良ニシテ、	不良ニシテ、	12	終ヨリ6	地上部ニハ既ニ二枚、	地上部ニハ二枚、
10	11	皮目	皮目	13	終ヨリ1	最高、最低寒暖計、	最高、最低寒暖計、
12	4	半切葉	同(半切葉)	26	終ヨリ5	生ズルモノミナリ。	生ズルモノミナリ。
12	13	検鏡セバ、	検鏡セバ、	27	18	本田靜六	本多靜六
12	14	堆積シ、	堆積シ、				
第二 規那種子ノ形質ガ其ノ發芽苗木及ビ成木ニ及ボス影響ニ關スル研究 第一報							
目次表	終ヨリ12	周縁	周縁	10	3	大、中、小ニ三別シ、	大、中、小ニ三別シ、
目次裏	1	發芽力検定	發芽力検定	13	3	播種床	播種床
4	1	レヂエリアーナ	「レドゲリアーナ」	13	20	勿論、	勿論、
7	12	障碍物	障碍物				
第三 規那播種床比較試験							
1	終ヨリ9	後面1.0m、トシ	後面1.0m、トシ	9	16	「サクシルプラ」ハ地上部ノ長サノ	「サクシルプラ」ハ地上部長ハ
2	2	比較的強ク、	比較的強シ、	12	終ヨリ3—4	1m <sup>2</sup> 、2.5 gr 南、北側各 1.25 gr 宛ヲ播種セリ。	1m <sup>2</sup> ニ2.5 gr ツ南北兩側各 1.25 gr 宛ニ播種セリ。
8	終ヨリ2	本數ハ合テ示ス。	本數ハ合計ヲ示ス。	15		Rudolf	Rudolf
9	8	「レドゲリアーナ」ハ	「レドゲリアーナ」ノ				

14. 21-285へ



1200501157817

4.21

285へ

終